

令和8年度第1回松本市地域包括支援センター運営協議会次第

日 時 令和8年7月8日（水）
午後1時から
会 場 議員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 報告事項

ア 令和7年度地域包括支援センター収支決算及び令和8年度収支予算について
資料1

イ 令和7年度松本市地域包括支援センター活動実績について…………… 資料2

ウ 第10期介護保険計画・高齢者福祉計画の策定及び高齢者等実態調査の報告
について…………… 資料3-1～3-4

エ 居宅介護支援事業者の介護予防支援の指定状況について…………… 資料4

(2) 協議事項

ア 介護予防支援業務の居宅介護支援事業所への一部委託について
資料5-1～5-2

4 閉 会

令和8年度
松本市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

(任期:令和6年5月1日～令和9年4月30日)

No	氏 名	所 属 等	備考
1	ハ タ モトユキ 羽田 原之	松本市医師会(理事)	副会長
2	トドロキノリユキ 轟 紀五	松本市歯科医師会(副会長)	
3	ホン ボ タケトシ 本保 武俊	松本薬剤師会	
4	タ ナカ 田中 さつき	長野県社会福祉士会	
5	ミヤタケ チ ナ ミ 宮武 千奈美	長野県看護協会	
6	スギモト ユ ミ コ 杉本 裕美子	長野県介護福祉士会	
7	マツシタ ミ サ ヨ 松下 美佐子	長野県介護支援専門員協会	
8	ヤマギシ カ ツ コ 山岸 勝子	松本市民生委員・児童委員協議会(副会長)	
9	ア オ キ タダタカ 青木 忠孝	松本市高齢者クラブ連合会(会長)	
10	シリナシハマ ヒロユキ 尻無浜 博幸	学識経験者(松本大学)	会長
11	セキナガ ノブコ 関永 信子	公募委員	

資料1

(収入) (単位:円)

支出 項目	センター	A包括	B包括	C包括	D包括	E包括	F包括	G包括	H包括	I包括	J包括	K包括	L包括	計
人件費		21,896,300	22,264,264	21,598,880	23,161,012	18,438,025	22,903,265	26,869,786	23,445,123	21,007,189	22,535,874	24,177,816	23,006,677	271,304,211
事務費		5,116,811	3,916,033	1,679,784	1,530,887	1,843,838	2,542,027	5,073,449	3,294,425	1,209,560	1,197,868	4,193,563	4,559,694	36,157,939
介護予防支援委託料		5,690,187	9,959,773	6,788,560	5,505,863	8,220,601	6,949,794	7,564,126	8,010,217	6,687,538	6,105,530	7,799,346	8,678,170	87,959,705
介護予防 ケアマネジメント委託料		1,896,729	3,319,924	3,194,616	2,590,995	2,723,389	2,316,598	3,917,194	2,910,367	3,147,076	3,683,275	1,949,836	2,169,543	33,819,542
その他諸費		0	0	356,400	191,400	32,805	0	0	9,777	521,400	0	0	0	1,111,782
合 計		34,600,027	39,459,994	33,618,240	32,980,157	31,258,658	34,711,684	43,424,555	37,669,909	32,572,763	33,522,547	38,120,561	38,414,084	430,353,179
(前年度)		(35,000,275)	(39,678,686)	(33,792,660)	(30,099,683)	(35,757,112)	(37,094,575)	(43,542,097)	(40,603,142)	(30,385,473)	(38,426,061)	(38,819,131)	(38,417,369)	(441,616,264)

[illegible]

支出)													
センター 項目	A包括	B包括	C包括	D包括	E包括	F包括	G包括	H包括	I包括	J包括	K包括	L包括	計
人件費	21,370,000	21,210,000	21,950,000	24,352,000	19,980,000	21,186,902	25,800,000	23,288,200	21,476,000	21,910,929	22,814,441	22,500,000	267,838,472
事務費	4,100,000	4,390,000	2,334,000	2,151,000	3,640,000	2,712,782	5,430,000	2,441,242	1,669,000	1,344,080	2,365,559	4,212,000	36,789,663
介護予防支援委託費	5,794,000	10,219,000	7,120,000	5,476,000	8,250,000	7,612,520	11,264,000	7,884,000	6,719,000	8,011,865	8,600,000	8,600,000	95,550,385
介護予防 ケアマネジメント委託費	2,036,000	3,591,000	3,306,000	2,549,000	3,100,000	3,109,340	3,936,000	2,916,000	3,134,000	3,723,301	1,900,000	2,100,000	35,400,641
その他諸費	303,000	290,000	0	0	92,000	1,468,456	64,000	765,558	0	0	0	0	2,983,014
合 計	33,603,000	39,700,000	34,710,000	34,528,000	35,062,000	36,090,000	46,494,000	37,295,000	32,998,000	34,990,175	35,680,000	37,412,000	438,562,175
(前年度)	(36,470,000)	(40,445,000)	(36,079,000)	(34,497,000)	(38,862,000)	(36,937,000)	(47,194,000)	(37,398,760)	(36,520,000)	(34,990,175)	(36,802,000)	(37,066,000)	(453,260,935)

[illegible]

令和7年度 松本市地域包括支援センター活動実績について

1 担当地区及び高齢者人口(65歳以上人口 = 第1号被保険者数)

(R7年4月1日現在)

(単位:人)

		地 区					計	前年度	増減	高齢化率
長野県							645,496	-	-	32.5%
松本市							66,989	67,122	▲ 133	28.7%
北部	担当地区	岡田	本郷	四賀	—	—				
	高齢者人口	1,988	4,063	1,791	—	—	7,842	7,867	▲ 25	30.8%
東部	担当地区	第三	入山辺	里山辺	—	—				
	高齢者人口	1,338	847	3,317	—	—	5,502	5,544	▲ 42	31.0%
中央	担当地区	第一	第二	東部	中央	白板				
	高齢者人口	435	893	1,079	797	1,732	4,936	4,961	▲ 25	32.8%
中央北	担当地区	城北	安原	城東	—	—				
	高齢者人口	2,092	1,194	1,119	—	—	4,405	4,402	3	28.1%
中央南	担当地区	庄内	中山	—	—	—				
	高齢者人口	3,498	1,360	—	—	—	4,858	4,802	56	27.6%
中央西	担当地区	田川	鎌田	—	—	—				
	高齢者人口	1,086	4,263	—	—	—	5,349	5,362	▲ 13	22.6%
南東部	担当地区	寿	寿台	内田	松原	—				
	高齢者人口	3,615	1,063	709	890	—	6,277	6,256	21	29.5%
南部	担当地区	松南	芳川	—	—	—				
	高齢者人口	1,616	3,894	—	—	—	5,510	5,495	15	24.5%
南西部	担当地区	神林	笹賀	今井	—	—				
	高齢者人口	1,496	2,850	1,399	—	—	5,745	5,790	▲ 45	30.0%
河西部	担当地区	島内	島立	—	—	—				
	高齢者人口	3,314	2,041	—	—	—	5,355	5,371	▲ 16	28.4%
河西部西	担当地区	新村	和田	梓川	—	—				
	高齢者人口	1,105	1,165	3,485	—	—	5,755	5,782	▲ 27	30.1%
西部	担当地区	安曇	奈川	波田	—	—				
	高齢者人口	591	281	4,583	—	—	5,455	5,490	▲ 35	32.2%

2 職員の状況(非常勤含む)

(R7年4月1日現在)

(単位:人)

	保健師 看護師	社会福祉士	主任 ケアマネ	介護支援 専門員	事務職等	計	65歳以上 人口/人	前年度	増減
北部	1	2	2	0	0	5	1,568	5	0
東部	1	1	2	0	0	4	1,376	4	0
中央	1	2	1	0	0	4	1,234	4	0
中央北	1	1	2	0	0	4	1,101	4	0
中央南	2	1	1	0	0	4	1,215	4	0
中央西	1	1	2	0	0	4	1,337	4	0
南東部	1	1	2	0	0	4	1,569	4	0
南部	1	1	2	0	0	4	1,378	4	0
南西部	1	1	2	0	0	4	1,436	4	0
河西部	1	2	1	0	0	4	1,339	4	0
河西部西	2	1	1	0	0	4	1,439	4	0
西部	1	1	2	0	0	4	1,364	4	0
合計	14	15	20	0	0	49	-	49	0

人員体制(介護保険法施行規則第140条の66 一の地域包括支援センターが担当する区域における第1号被保険者はおおむね3,000人以上

6,000人未満で、従事する職員は3職種を配置し、3職種一人あたりの第1号被保険者数は1,000～2,000人と定められている。)

3 総合相談支援

事業目的・・・高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるようにするため、どのような支援が必要なのかを把握し、適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行う。

相談件数

(単位:件)

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	基幹	合計	前年比
R5	2,308	2,321	2,063	3,048	3,180	1,894	2,358	2,734	1,679	3,073	2,604	2,423	614	30,299	▲ 716
R6	2,598	2,096	2,277	3,771	3,079	2,172	2,831	2,892	2,363	2,855	2,352	2,358	577	32,221	1922
R7	2,866	1,966	1,692	2,583	2,907	1,682	2,307	2,438	2,496	2,492	2,003	1,824	587	27,843	▲ 4,378

相談内容

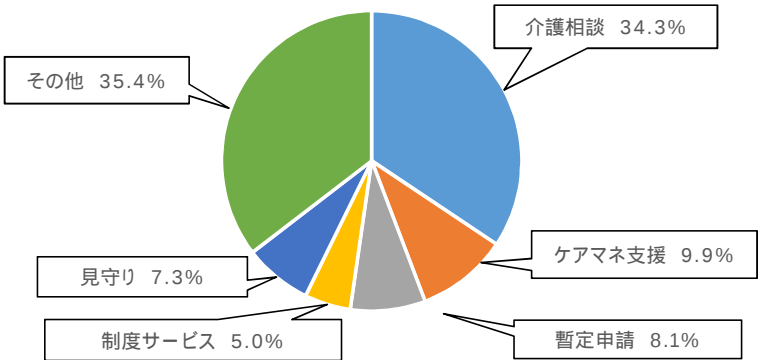
(単位:件)

	介護相談	ケアマネ支援	暫定申請	制度サービス	見守り	その他	合計
R5	9,643	4,130	2,481	1,755	2,197	10,093	30,299
R6	10,749	4,370	2,437	1,782	2,429	10,454	32,221
R7	9,564	2,746	2,250	1,381	2,044	9,858	27,843
R6前年比	▲ 1,185	▲ 1,624	▲ 187	▲ 401	▲ 385	▲ 596	-

その他には、施設入所に関する相談、医療・医療以外との連携、成年後見制度、苦情等を含む。

R7相談内容別割合

【「その他」の内訳】	
・施設入所に関する相談	691件
・医療との連携	2,696件
・医療以外との連携	2,731件
・成年後見制度	197件
・高齢者虐待	547件
・苦情	90件
・生活支援体制整備に関する相談	671件
・高齢者以外の相談	444件
・配食サービス	68件
・終活	32件
・その他	1,691件



・介護相談、ケアマネ支援を中心に年間2万7,000件以上の総合相談に対応。

4 権利擁護

事業目的・・・高齢者虐待などの権利侵害に対する支援を図るとともに、成年後見制度等の活用に向けた支援を行う。

権利擁護相談件数の年次推移

(単位:件)

	成年後見等	高齢者虐待	合計	前年比
R5	180	971	1,151	▲ 313
R6	205	615	820	▲ 331
R7	197	547	744	▲ 76
R6前年比	▲ 8	▲ 68	-	

ア 虐待対応会議開催数(延案件数)

コアメンバー会議	21回	(25件)
定例コアメンバー会議	10回	(39件)
対応検討会議	4回	(4件)

イ 成年後見制度会議開催数(延案件数)

内部検討会	11回	(13件)
-------	-----	---------

・相談件数は減少しているが、権利擁護関係会議開催数、延案件数は増加しており相談内容の複雑化がうかがえる。

5 認知症関係

事業目的・・・ 認知症になっても自分の意思が尊重され希望をもって自分らしく日常生活を過ごせる松本市を目指し、本人や家族の視点を重視した各事業を推進していく。

認知症サポーター養成講座の開催状況

	開催回数 (回)	受講者数 (人)	受講者の内訳 (回)				講座担当者 (回)		
			企業団体	地域住民	学校関係	その他	包括職員	地域キャラバンメイト	包括＋地域キャラバン
R5	74	2,938	4	29	41	0	32	20	22
R6	71	3,157	7	17	47	0	31	25	15
R7	71	2,967	10	25	35	1	27	21	23

H20.11からの総数		
-	1,300回	44,493人

(開催回数内訳)

(単位:回)

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	地域 キャラバン メイト	計	前年比
R5	2	4	2	4	4	10	1	3	5	7	7	6	19	74	▲ 5
R6	4	3	5	3	0	12	0	2	3	6	4	4	25	71	▲ 3
R7	4	6	3	3	3	6	1	0	9	9	3	4	20	71	0

ステップアップ講座の開催状況

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	開催回数(回)	受講者数(人)
R5	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0	2	2	10	151
R6	1	1	1	0	1	1	1	0	2	1	3	0	12	306
R7	0	0	1	1	3	2	0	1	4	0	3	0	15	329

認知症カフェ等の開催箇所数(運営支援状況)

(単位:件)

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	合計	前年比
R5	3	2	4	2	3	1	0	1	2	0	1	2	21	4
R6	3	2	4	2	3	1	1	1	2	1	2	2	24	3
R7	3	2	3	1	3	1	1	1	2	1	2	2	22	▲ 2

認知症初期集中支援チームの対応実績

	対象者数 (人)	訪問延べ数 (件)	チーム員会議 (回)
R5	14	128	10
R6	15	138	10
R7	6	59	9

まつもとミーティング(本人ミーティング)開催支援実績

	開催数 (回)	参加延べ数 (人)
R5	12	268
R6	12	265
R7	12	293

認知症の本人、家族、地区住民、若年性認知症コーディネーター、地域包括支援センター職員、高齢福祉課職員他

チームオレンジまつもとの設置

	設置数	うち新規設置数
R5	3	3
R6	5	2
R7	9	4

地区別内訳

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	合計
設置数	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	3	0	9

・認知症施策推進計画に基づき各地域のニーズに合わせて、認知症地域支援推進員を中心に全地域包括支援センターで取組を展開している。

6 介護予防ケアマネジメント

事業目的・・・ 要支援1・2、基本チェックリスト該当者に対して介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、訪問型・通所型サービス、その他の生活支援サービス等適切な事業が包括的・効率的に実施されるよう必要な援助を行う。

チェックリスト実施者数

(単位:人)

	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	基幹	合計	増減
R5	9	4	1	1	2	0	2	3	0	4	2	8	0	36	10
R6	5	1	0	1	5	0	6	0	4	4	3	0	0	29	▲ 7
R7	4	0	0	1	1	0	6	3	2	2	8	0	0	27	▲ 2

(チェックリスト実施者数の内訳)

(単位:人)

	【新規】		【更新者】	【非該当者】	【合計】
	新規	要介護認定から			
R5	22	0	0	14	36
R6	29	0	0	0	29
R7	27	0	0	0	27

【更新者】とは要支援認定を受けていた者が事業対象者へ移行となった者。

ケアプラン作成状況

ア 令和7年度ケアプラン作成数

(単位:件)

	介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント		合計	直接作成	委託作成	委託率(%)
		プランA	プランB				
北部	2,421	1,168	46	3,635	924	2,722	74.7%
東部	2,395	771	12	3,178	767	2,436	76.1%
中央	2,190	820	0	3,010	400	2,612	86.7%
中央北	1,490	867	0	2,357	165	2,197	93.0%
中央南	1,696	693	0	2,389	744	1,660	69.1%
中央西	2,216	751	0	2,967	634	2,333	78.6%
南東部	2,775	1,005	0	3,780	851	2,940	77.6%
南部	1,138	1,098	0	2,236	64	2,173	97.1%
南西部	1,742	700	0	2,442	300	2,147	87.7%
河西部	2,593	643	0	3,236	680	2,556	79.0%
河西部西	2,015	633	97	2,745	772	1,981	72.0%
西部	1,481	496	136	2,113	359	1,757	83.0%
合計	24,152	9,645	291	34,088	6,660	27,514	80.5%

プラン作成数と直接・委託作成との合計相違は、過誤・返戻分によるもの。

イ ケアプラン作成数の年度推移

(単位:件)

	介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント		合計	増減
		プランA	プランB		
R5	32,176	10,659	453	43,288	1,742
R6	29,049	10,211	356	39,616	▲ 3,672
R7	24,152	9,645	291	34,088	▲ 5,528

(参考) 介護予防支援の給付実績 (単位:件)

	直接指定の介護予防支援事業所
R5	
R6	4,451
R7	10,326

・地域包括支援センターのケアプラン作成数は、直接指定を受けた事業所の作成数が増加したため給付管理等事務負担の軽減につながっている一方、ケアマネジャーのプラン作成に伴う相談・指導は変わらず行う必要があるため、負担を感じている。

地区別要支援認定者数及びサービス利用者数

ア 指定介護予防支援

地区別要支援認定者数及び予防給付サービス利用者数(総合事業サービス併用者を含む)

(単位:人)

		要支援認定者数 (R8.3.31現在)						予防給付サービス利用者数 (R8.3月分)				
		要支援1	要支援2	計	R7.3時点	増減	65歳以上に対する割合	利用者数	前年度	増減	利用率(%)	65歳以上に対する割合
北部	岡田	40	75	115	118	▲ 3	5.8%	79	83	▲ 4	68.7%	4.0%
	本郷	118	163	281	271	10	6.9%	184	167	17	65.5%	4.5%
	四賀	43	50	93	81	12	5.2%	59	53	6	63.4%	3.3%
東部	第三	26	53	79	81	▲ 2	5.8%	55	56	▲ 1	69.6%	4.1%
	入山辺	25	38	63	53	10	7.4%	41	33	8	65.1%	4.8%
	里山辺	103	135	238	229	9	7.2%	170	155	15	71.4%	5.1%
中央	第一	16	17	33	30	3	7.2%	21	18	3	63.6%	4.6%
	第二	29	42	71	88	▲ 17	8.1%	53	59	▲ 6	74.6%	6.0%
	東部	26	44	70	79	▲ 9	6.5%	50	55	▲ 5	71.4%	4.7%
	中央	14	40	54	59	▲ 5	6.7%	42	37	5	77.8%	5.2%
	白板	50	70	120	122	▲ 2	6.9%	80	79	1	66.7%	4.6%
中央北	城北	59	92	151	158	▲ 7	7.2%	99	89	10	65.6%	4.7%
	安原	31	44	75	67	8	6.3%	53	49	4	70.7%	4.4%
	城東	23	56	79	80	▲ 1	7.2%	57	51	6	72.2%	5.2%
中央南	庄内	85	131	216	205	11	6.1%	143	135	8	66.2%	4.1%
	中山	25	50	75	73	2	5.5%	56	47	9	74.7%	4.1%
中央西	田川	40	56	96	94	2	8.6%	71	80	▲ 9	74.0%	6.4%
	鎌田	116	168	284	284	0	6.6%	210	200	10	73.9%	4.9%
南東部	寿	86	136	222	231	▲ 9	6.1%	155	161	▲ 6	69.8%	4.2%
	寿台	41	72	113	102	11	11.0%	81	69	12	71.7%	7.9%
	内田	8	24	32	33	▲ 1	4.5%	24	22	2	75.0%	3.4%
	松原	21	25	46	41	5	5.1%	26	22	4	56.5%	2.9%
南部	松南	52	78	130	126	4	8.0%	76	66	10	58.5%	4.7%
	芳川	86	160	246	243	3	6.3%	160	144	16	65.0%	4.1%
南西部	神林	16	48	64	64	0	4.3%	45	38	7	70.3%	3.0%
	笹賀	42	123	165	169	▲ 4	5.8%	114	118	▲ 4	69.1%	4.0%
	今井	22	51	73	74	▲ 1	5.2%	51	50	1	69.9%	3.6%
河西部	島内	88	136	224	217	7	6.7%	166	163	3	74.1%	5.0%
	島立	49	69	118	121	▲ 3	5.9%	83	79	4	70.3%	4.2%
河西部西	新村	27	42	69	69	0	6.3%	50	44	6	72.5%	4.5%
	和田	12	42	54	55	▲ 1	4.7%	44	42	2	81.5%	3.8%
	梓川	40	107	147	162	▲ 15	4.3%	105	111	▲ 6	71.4%	3.0%
西部	安曇	11	23	34	26	8	5.8%	20	16	4	58.8%	3.4%
	奈川	1	8	9	16	▲ 7	3.2%	8	14	▲ 6	88.9%	2.8%
	波田	65	164	229	235	▲ 6	5.0%	161	151	10	70.3%	3.5%
合計		1,536	2,632	4,168	4,156	12	6.2%	2,892	2,718	174	69.4%	4.3%

住民票住所を基準にしているため、各センターの実際の介護予防支援数とは一致しません。

イ 介護予防ケアマネジメント

地区別総合事業サービス対象者数及び総合事業サービスのみの利用者数

(単位:人)

		総合事業サービス対象者 (R8.3.31現在)							総合事業サービス利用者数 (R8.3月分)				
		事業対象者	要支援1	要支援2	計	R7.3時点	増減	65歳以上に 対する割合	利用者数	前年度	増減	利用率 (%)	65歳以上に 対する割合
北部	岡田	3	40	75	118	122	▲ 4	5.9%	22	20	2	18.6%	1.1%
	本郷	9	118	163	290	283	7	7.1%	63	53	10	21.7%	1.5%
	四賀	16	43	50	109	99	10	6.1%	23	24	▲ 1	21.1%	1.3%
東部	第三	1	26	53	80	85	▲ 5	5.9%	11	13	▲ 2	13.8%	0.8%
	入山辺	0	25	38	63	54	9	7.4%	7	11	▲ 4	11.1%	0.8%
	里山辺	6	103	135	244	235	9	7.4%	39	44	▲ 5	16.0%	1.2%
中央	第一	0	16	17	33	31	2	7.2%	4	6	▲ 2	12.1%	0.9%
	第二	4	29	42	75	92	▲ 17	8.5%	11	16	▲ 5	14.7%	1.3%
	東部	3	26	44	73	82	▲ 9	6.8%	17	16	1	23.3%	1.6%
	中央	3	14	40	57	62	▲ 5	7.0%	6	11	▲ 5	10.5%	0.7%
	白板	4	50	70	124	127	▲ 3	7.1%	22	20	2	17.7%	1.3%
中央北	城北	7	59	92	158	165	▲ 7	7.5%	33	38	▲ 5	20.9%	1.6%
	安原	4	31	44	79	72	7	6.6%	20	15	5	25.3%	1.7%
	城東	3	23	56	82	83	▲ 1	7.4%	15	20	▲ 5	18.3%	1.4%
中央南	庄内	15	85	131	231	222	9	6.6%	49	41	8	21.2%	1.4%
	中山	4	25	50	79	78	1	5.8%	10	10	0	12.7%	0.7%
中央西	田川	2	40	56	98	98	0	8.8%	15	11	4	15.3%	1.3%
	鎌田	6	116	168	290	293	▲ 3	6.7%	46	48	▲ 2	15.9%	1.1%
南東部	寿	19	86	136	241	248	▲ 7	6.6%	45	45	0	18.7%	1.2%
	寿台	5	41	72	118	109	9	11.5%	17	21	▲ 4	14.4%	1.7%
	内田	0	8	24	32	33	▲ 1	4.5%	5	6	▲ 1	15.6%	0.7%
	松原	0	21	25	46	41	5	5.1%	7	5	2	15.2%	0.8%
南部	松南	3	52	78	133	129	4	8.1%	33	33	0	24.8%	2.0%
	芳川	6	86	160	252	250	2	6.4%	53	54	▲ 1	21.0%	1.3%
南西部	神林	3	16	48	67	66	1	4.5%	10	11	▲ 1	14.9%	0.7%
	笹賀	11	42	123	176	186	▲ 10	6.2%	31	37	▲ 6	17.6%	1.1%
	今井	1	22	51	74	80	▲ 6	5.3%	9	11	▲ 2	12.2%	0.6%
河西部	島内	11	88	136	235	228	7	7.0%	29	37	▲ 8	12.3%	0.9%
	島立	4	49	69	122	126	▲ 4	6.1%	21	23	▲ 2	17.2%	1.1%
河西部西	新村	2	27	42	71	71	0	6.4%	11	19	▲ 8	15.5%	1.0%
	和田	5	12	42	59	60	▲ 1	5.1%	12	12	0	20.3%	1.0%
	梓川	12	40	107	159	174	▲ 15	4.6%	31	33	▲ 2	19.5%	0.9%
西部	安曇	3	11	23	37	29	8	6.3%	5	5	0	13.5%	0.9%
	奈川	4	1	8	13	20	▲ 7	4.6%	5	4	1	38.5%	1.8%
	波田	17	65	164	246	256	▲ 10	5.4%	43	53	▲ 10	17.5%	0.9%
合計		196	1,536	2,632	4,364	4,312	52	6.5%	780	826	▲ 46	17.9%	1.2%

住民票住所を基準にしているため、各センターの実際の介護予防支援数とは一致しません。

7 包括的・継続的ケアマネジメント支援

事業目的・・・高齢者が地域で安心して自立した生活ができるよう、環境整備とそのケースに合わせた個別ケアマネジメント支援を行うため、介護支援専門員（ケアマネジャー）の学習会を開催を支援し、介護予防、自立支援が実践できるようサポートを行う。

令和7年度 介護支援専門員に対する研修会等の実施状況

ア 全市研修会

区分	回数	テーマ
ケアマネジャー勉強会	5回	高齢福祉と介護保険制度について 介護予防ケアマネジメントについて 認知症の方の在宅生活継続に向けたリハビリテーションの視点 精神疾患を抱える本人・家族への対応方法について 虐待の気づきと相談後のプロセスについて
ケアマネジャーなんでも相談会	2回	ケアマネジャー確保や定着にひつようなこととは これってケアマネの仕事？～ケアマネジャーのシャドーワークを考える～
多職種連携研修会	1回	信州オレンジサミット2025in松本～認知症とともに笑顔で暮らす街を～ (信州オレンジサミット2025実行委員会と共同開催)

イ 包括エリア研修会

区分	回数	テーマ
ケアマネジャー勉強会	10回	働きやすい職場環境の整備について 介護予防ケアマネジメントについて 地域共生社会へのデザイン ケアする人の心を考える～心が折れそうなきにできるセルフケアと支えあい～ 「認知症のご本人の声を聞く」とは 住み慣れた自宅での最期の時間を自分らしくすごしたい 能登半島地震の被災地支援を学び、災害時の多職種連携について考える 個別避難計画と福祉専門職のかかわり 「まいさばの事業内容紹介」「貧困・身寄りなし・金銭管理等の複雑化したケースを整理する視点を多職種で考えてみよう～9マスシートを活用して～」 能登半島地震の被災地支援から学ぶ～日頃の備えや大切なこと～
多職種連携研修会	11回	職員の賃上げ・職場環境改善事業と松本市ケアプランチェックの動向 各事業所の担当者会議での果たすべき役割や重要な視点等に着目 適切なケアマネジメント手法～ケアプラン作成～ 独居高齢者の支援を地域住民とともに考える 賢い消費者になるために 「介護予防マネジメント、インフォーマルサービスについて」「医療と介護の連携について 障がい福祉制度について...障がい福祉制度の現状と課題 能登の今...ケアマネジャーと災害を考える 成年後見制度とケアマネジャー 障がいと貧困など複雑化したケース検討から制度を学ぶ 「介護予防ケアマネジメントについて」「エンディングノートについて」

全体研修会や地域包括支援センターごとの研修会を開催し、関係機関との連携強化、ケアマネジャーの資質向上を図った。

8 令和7年度地域包括ケアに関する各地区の取組み状況一覧

地域包括支援 センター名	地区	地域ケア会議			自立支援型個別ケア会議			地区支援 企画会議
		実施回数			実施回数			
		個別	地域	計	包括主催	市主催	計	
北部	岡田	0	0	0	0	1	1	○
	本郷	0	0	0	1	0	1	○
	四賀	3	1	4	0	0	0	○
東部	第三	0	0	0	0	0	0	○
	入山辺	1	0	1	0	1	1	○
	里山辺	1	0	1	0	0	0	○
中央	第一	0	0	0	0	0	0	○
	第二	1	0	1	0	1	1	○
	東部	0	1	1	0	0	0	○
	中央	0	0	0	0	0	0	○
	白板	0	0	0	1	0	1	○
中央北	城北	0	0	0	0	0	0	○
	城東	0	0	0	0	1	1	○
	安原	1	0	1	1	0	1	○
中央南	庄内	2	0	2	2	0	2	○
	中山	1	0	1	0	1	1	○
中央西	田川	0	0	0	0	1	1	○
	鎌田	6	2	8	2	0	2	○
南東部	寿	1	0	1	0	1	1	○
	寿台	3	0	3	1	0	1	○
	内田	0	0	0	0	0	0	○
	松原	0	0	0	0	0	0	○
南部	松南	0	0	0	1	0	1	○
	芳川	0	0	0	0	1	1	○
南西部	笹賀	1	0	1	1	0	1	○
	神林	0	0	0	0	1	1	○
	今井	0	0	0	0	0	0	○
河西部	島内	2	0	2	1	1	2	○
	島立	1	0	1	0	0	0	○
河西部西	新村	0	0	0	0	0	0	○
	和田	0	0	0	1	0	1	○
	梓川	0	1	1	0	1	1	○
西部	安曇	0	0	0	0	0	0	○
	奈川	1	0	1	0	0	0	○
	波田	0	0	0	1	1	2	○
実施合計	地区数	14地区	4地区	16地区	11地区	12地区	21地区	35地区
	回数	25回	5回	30回	13回	12回	25回	-

・地域包括支援センターは、個別地域ケア会議や自立支援型個別ケア会議を開催し、地域課題の把握や検討を行っている。地区企画支援会議を通じて高齢者の課題を地域づくりセンターと共有している。

(報告事項)

第 10 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について

1 趣旨

介護保険法の規定に基づき、3 年を 1 期として策定する「介護保険事業計画」及び老人福祉法の規定に基づく「高齢者福祉計画」について、現計画である第 9 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（以下「第 9 期計画」という。）が令和 8 年度で計画期間満了となることから、令和 9 年度を始期とする第 10 期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（以下「第 10 期計画」という。）の策定及び計画の基礎資料として実施した高齢者等実態調査の結果について報告するものです。

2 経過

R 6.	3	第 9 期計画策定（計画期間：令和 6 年度～令和 8 年度）
7.	1 1. 1 0	第 10 期計画の策定について、松本市社会福祉審議会（以下「社会福祉審議会」という。）へ諮問
	1 2. 1 2	高齢者等実態調査実施
～ 8.	1. 1 4	
	2. 1 3	令和 7 年度第 3 回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会審議
	6. 4	令和 8 年度第 1 回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会審議

3 第 10 期計画の概要

(1) 計画期間

令和 9 年度～令和 11 年度（3 年間）

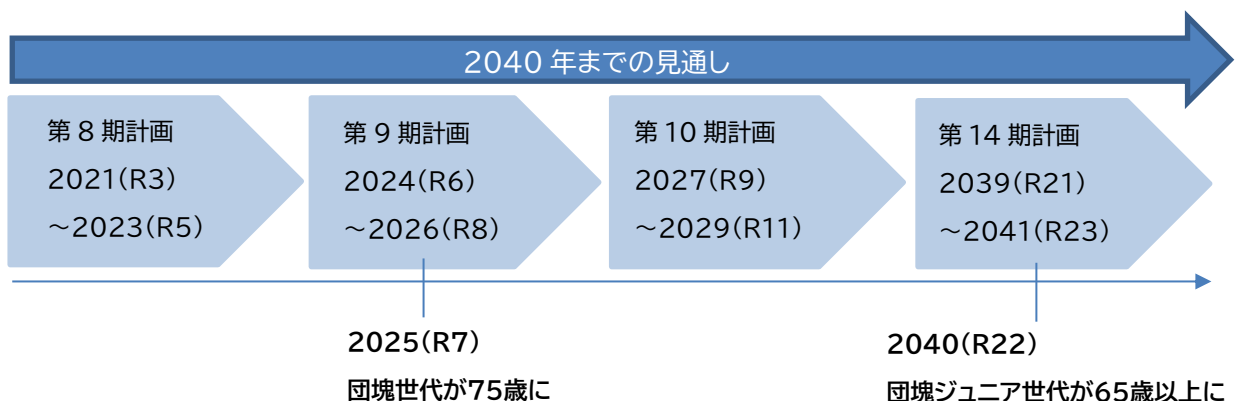
(2) 計画の基本的な考え方

団塊ジュニア世代が 65 歳以上となり、医療と介護の複合ニーズを抱える 85 歳以上人口の増加が見込まれる 2040 年を見据え、以下の施策の充実を図り、地域全体で高齢者を支える持続可能な介護保険・福祉制度を確保するための計画とします。

ア 見守り体制の推進と身寄りなき高齢者への支援

イ 認知症とともに生きる環境づくりの推進

ウ 介護人材の確保・育成及び介護事業所支援



4 策定のスケジュール（予定）

R 8.	1 0	第 2 回・第 3 回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会審議
	1 1	社会福祉審議会からの答申
		市議会厚生委員協議会に第 1 0 期計画（案）の協議
	1 2	パブリックコメントの実施
9.	1	市議会厚生委員協議会にパブリックコメント及び第 1 0 期計画（案）の報告
	2	保険料議案提出
	3	第 1 0 期計画策定

5 高齢者等実態調査について

(1) 調査の目的

第 1 0 期計画策定の基礎資料とするため、長野県が主体となり、全県統一の設問を設定し、高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する意向等に関し調査を実施

(2) 調査期間

令和 7 年 1 2 月 1 2 日から令和 8 年 1 月 1 4 日まで

(3) 調査方法

郵送回答または L o g o フォームを使用した電子回答

(4) 調査対象者及び回答率

調査名	対象者（人）		回答者（人）	回答率（％）
〔A 調査〕 居宅要介護・要 支援認定者等実 態調査	要介護・要支援の認定を受けている在宅の第 1 号被保険者（6 5 歳以上）、第 2 号被保険者（4 0 歳～6 4 歳）及びその介護者から無作為抽出	3, 000	1, 697 (1, 663)	56. 6 (55. 4)
〔B 調査〕 元気高齢者等実 態調査	要介護・要支援の認定を受けていない在宅の第 1 号被保険者から無作為抽出	1, 000	668 (653)	66. 8 (65. 3)

※ L o g o フォームを使用した電子回答数は、A 調査 1 0 2 人、B 調査 4 1 人でした。

(5) 調査の概要

別紙「松本市高齢者等実態調査結果報告書（概要版）」（資料 3－2）のとおり

6 今後の予定

社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会との十分な議論を重ねるとともに、パブリックコメントにより、市民の意見を反映させた計画を策定します。

松本市高齢者等実態調査結果報告書（概要版）

1 調査目的

介護保険法に基づき、市内高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する意向等に関する調査を実施し、第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定に向けた基礎資料とするもの

2 調査概要

長野県が主体となり、全県統一の設問を設定し、調査データを集計

(1) 調査期間

令和7年12月12日から令和8年1月14日まで

(2) 調査対象者及び回答率

調査名	対象者（人）	回答者(人)	回答率(%)
〔A調査〕 居宅要介護・要 支援認定者等実 態調査	要介護・要支援の認定を受けている在宅の第1号被保険者（65歳以上）、第2号被保険者（40歳～64歳）及びその介護者（以下「A調査（要介護高齢者等）」という。）	3,000 1,697 (1,663)	56.6 (55.4)
〔B調査〕 元気高齢者等実 態調査	要介護・要支援の認定を受けていない在宅の第1号被保険者（以下「B調査（元気高齢者等）」という。）	1,000 668 (653)	66.8 (65.3)

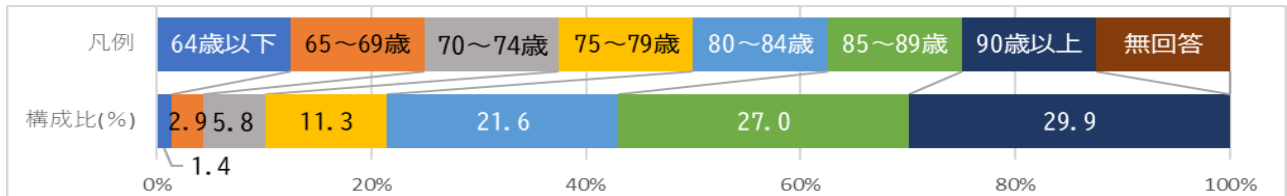
※括弧内は前回調査値

3 結果の概要

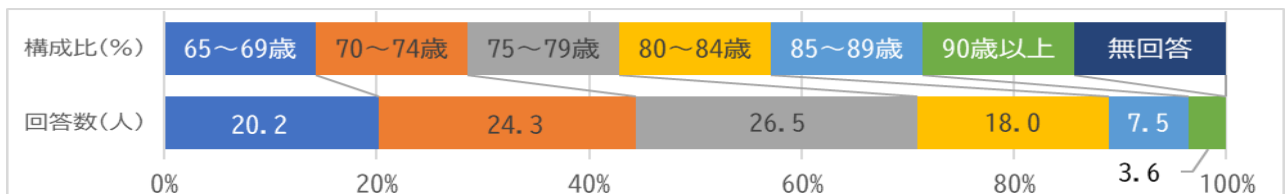
(1) 調査対象者の年齢構成

A調査（要介護高齢者等）では、「90歳以上」が29.9%と最も多く、B調査（元気高齢者等）では、「75～79歳」が26.5%と最も多い回答者の年齢構成となっています。

〔A調査〕 年齢構成



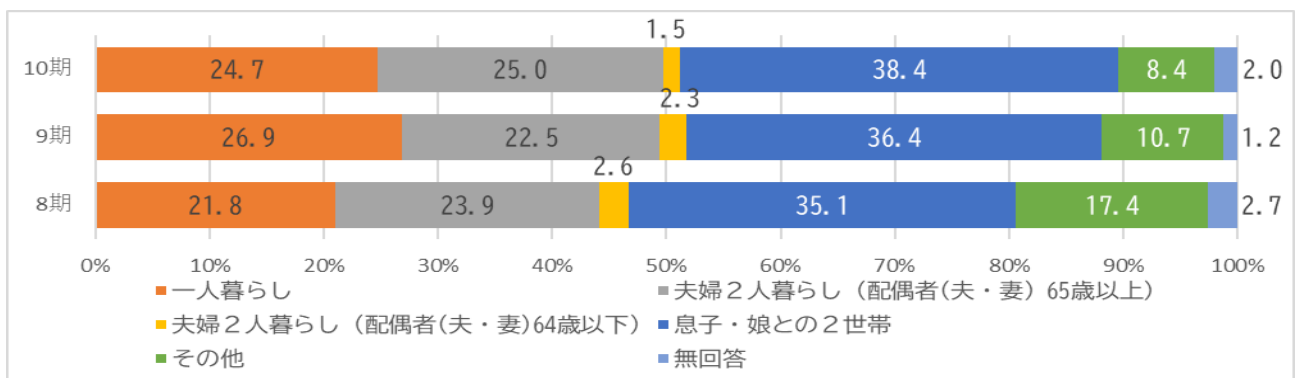
〔B調査〕 年齢構成



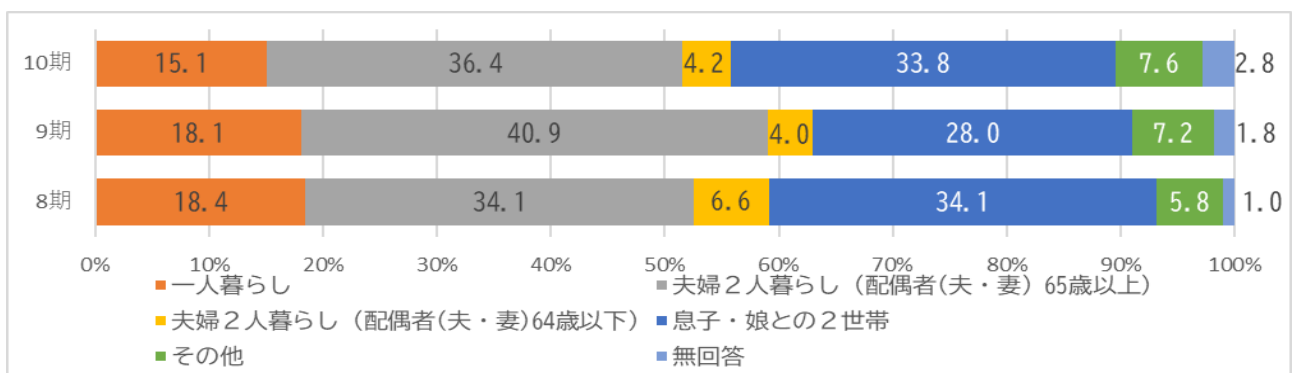
(2) 家族構成

今回調査の回答結果は、一人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者（夫・妻）65歳以上）の割合が、A調査（要介護高齢者等）及びB調査（元気高齢者等）ともに約5割を占めています。

〔A調査〕 問1 家族構成【経年比較】



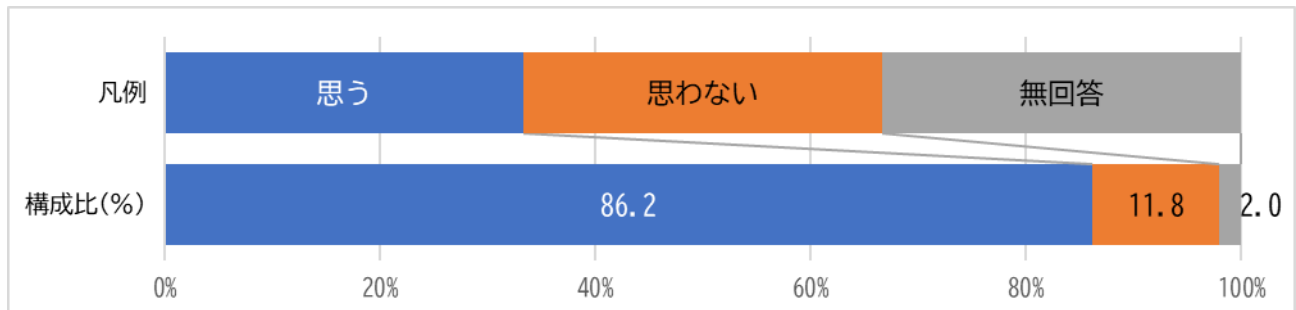
〔B調査〕 問1 家族構成【経年比較】



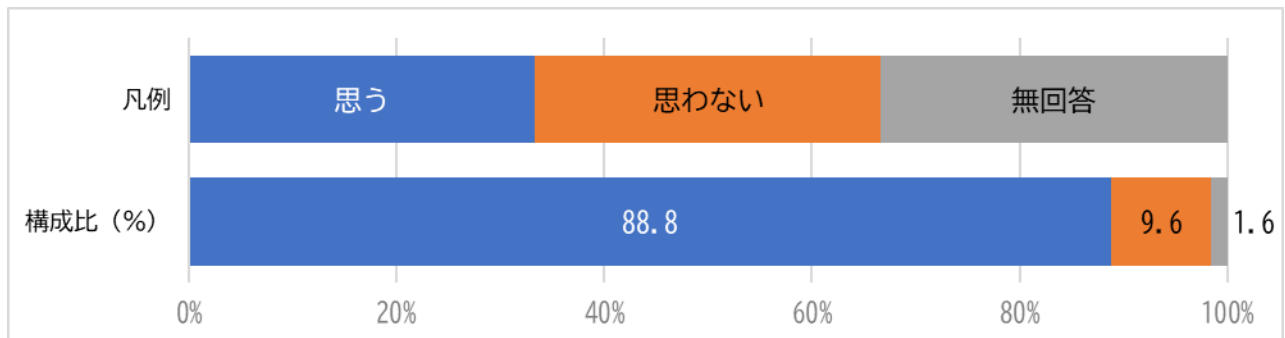
(3) 住んでいる地域は安心して生活できる地域だと思うか

今回の調査結果では、A調査（要介護高齢者等）は86.2%、B調査（元気高齢者等）では88.8%の人が安心して生活できる地域だと思うと答えており、全体として地域の生活環境に対する評価は高いといえます。

〔A調査〕問15 住んでいる地域は安心して生活できる地域だと思うか



〔B調査〕問17 住んでいる地域は安心して生活できる地域だと思うか

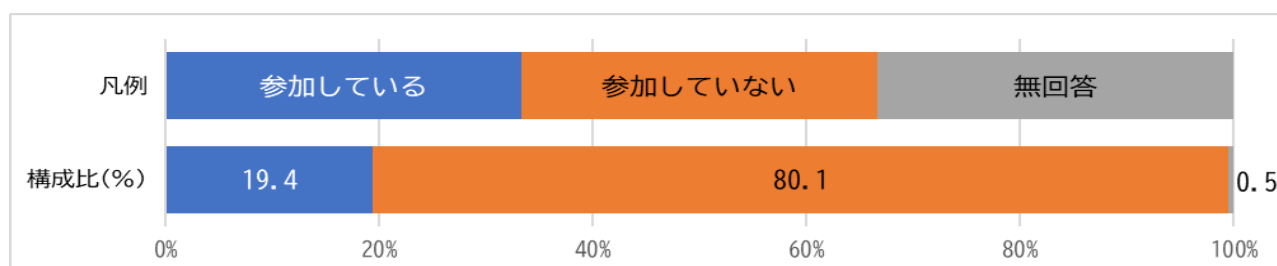


(4) 社会参加について

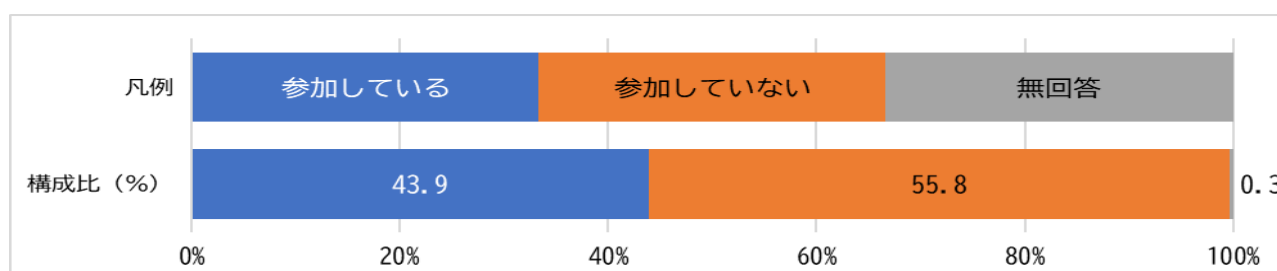
地域の会やグループへの参加状況については、半数以上の方が「参加していない」と答えており、A調査（要介護高齢者等）は約8割（80.1%）、B調査（元気高齢者等）は約6割（55.8%）でした。

一方で、いきいきした地域づくりの活動の参加意向については、「ぜひ参加したい」、「参加しても良い」、「すでに参加している」と答えた人はA調査（要介護高齢者等）では約3割（33.6%）、B調査（元気高齢者等）は約6割（64.1%）となっています。

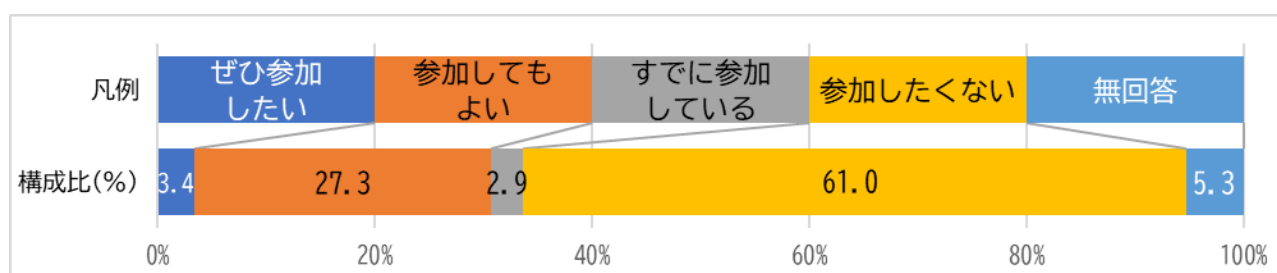
〔A調査〕問16 地域の会やグループへの参加状況



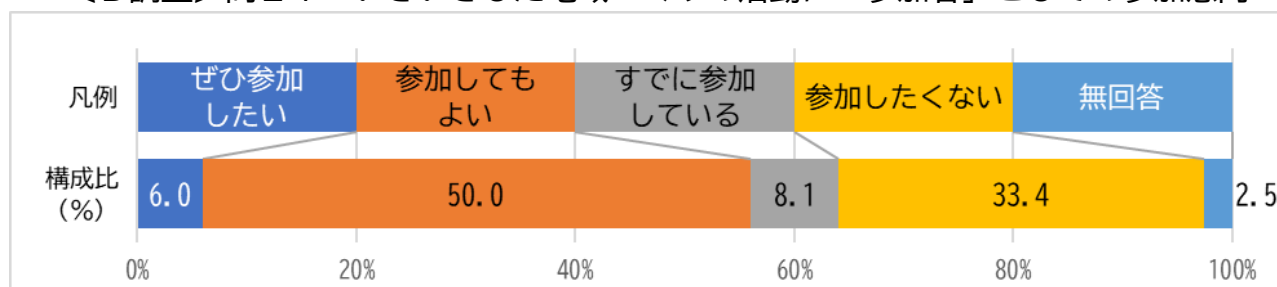
〔B調査〕問18 地域の会やグループへの参加状況



〔A調査〕問17 いきいきした地域づくりの活動に「参加者」としての参加意向



〔B調査〕問21 いきいきした地域づくりの活動に「参加者」としての参加意向

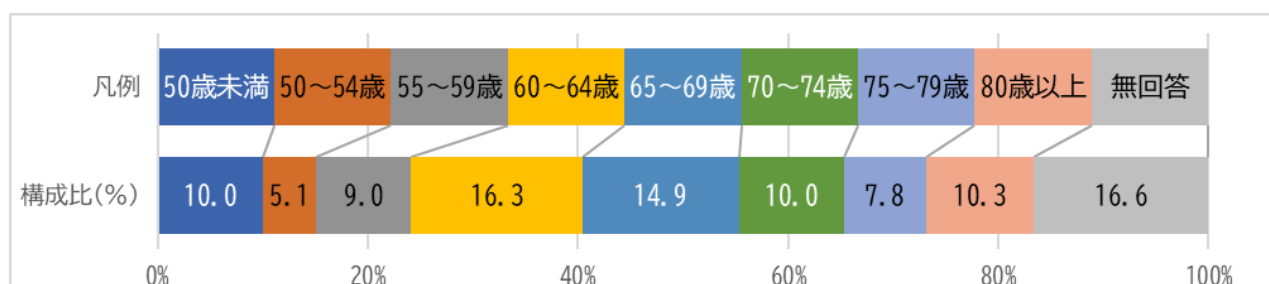


(5) 現在の就労状態と引退時期について

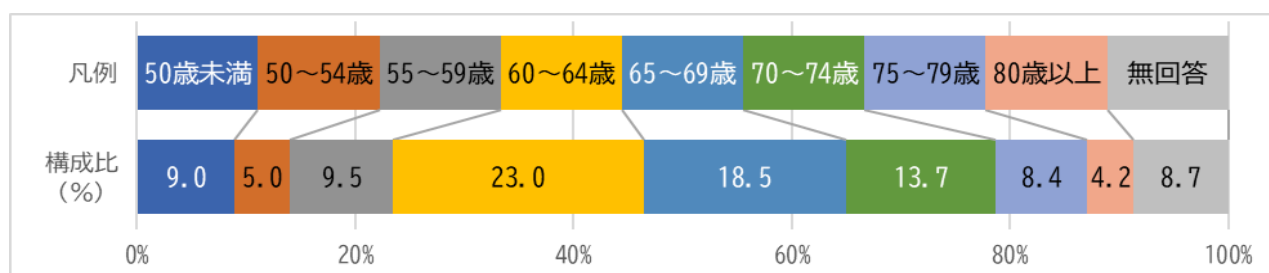
現在の就労状態については、「常勤」、「非常勤」、「自営業」等どのような雇用形態であっても現在就労していると答えた人は、A調査（要介護高齢者等）では5.2%、B調査では37.3%となっています。

一方で、「引退した」と答えた人の引退時期は、「60～64歳」と答えた人がいずれの調査でも最も多くなっていますが、前期高齢者である「65～69歳」、「70～74歳」と答えた人も約3割、後期高齢者である「75～79歳」、「80歳以上」と答えた人も約1割となっており、高齢期における就業継続・引退時期の後ろ倒し傾向がみられます。

〔A調査〕問19-1 引退した時期



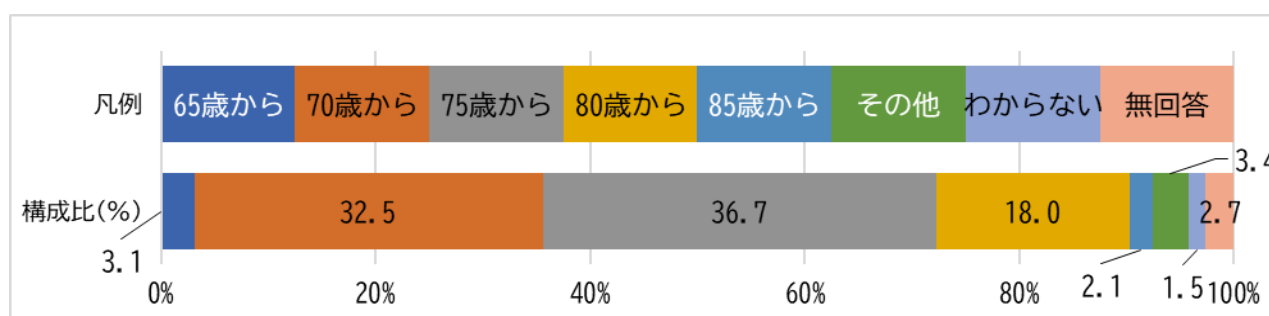
〔B調査〕問20-1 引退した時期



また、B調査（元気高齢者等）において、「高齢者」だと思ふ年齢は「75歳から」と答えた人が36.7%と最も多く、「75歳以上」と答えた人が全体の約6割（56.8%）と、「高齢者」の捉え方が従来よりも後ろにシフトしている傾向が見られます。

この背景には、健康状態の向上や就労の継続等により、一定の年齢に達しても「高齢者」であるとの認識を持たない層が増加していることが考えられます。

〔B調査〕問75 「高齢者」だと思ふ年齢

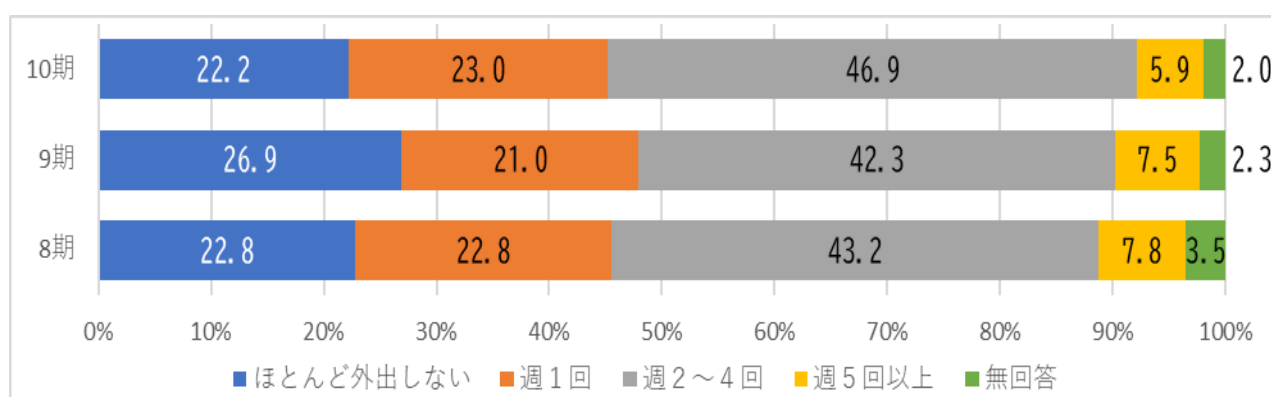


(6) 運動(週に1回以上外出しているか)

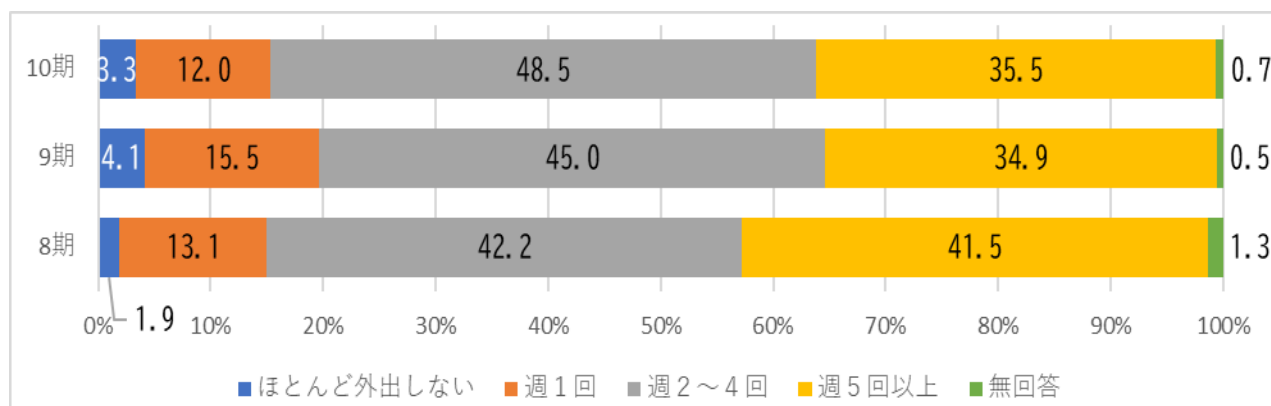
今回の調査結果では、A調査(要介護高齢者等)は75.8%、B調査(元気高齢者等)では96.0%の人が週1回以上外出すると答えています。一方で「ほとんど外出しない」と答えた人は、A調査(要介護高齢者等)では22.2%、B調査(元気高齢者等)では3.3%でした。

また、経年で比較すると、9期(令和5年1月調査)では、「ほとんど外出しない」の割合が他期と比較して高く、外出頻度の低下がみられます。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していた時期であり、外出控えの傾向が反映されたものと考えられます。一方、10期では「週1回以上外出」の割合が増加しており、外出行動は回復傾向にあり、概ね従来の水準に近づいているものと考えられます。

〔A調査〕問6 運動(⑥週に1回以上外出しているか)【経年比較】



〔B調査〕問7 運動(⑥週に1回以上外出しているか)【経年比較】



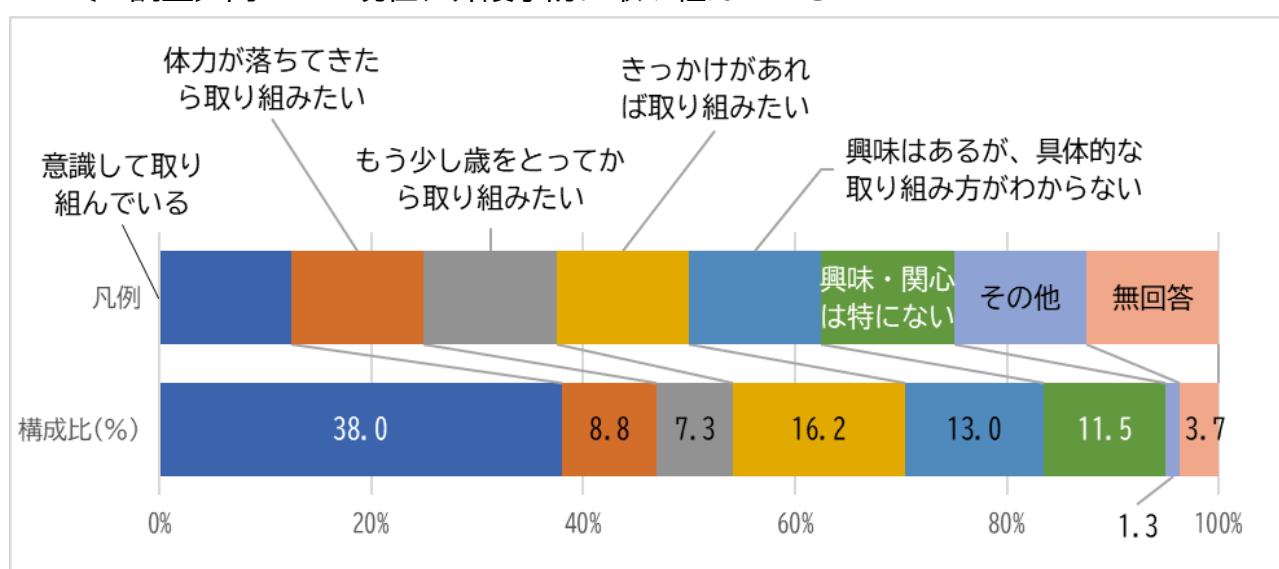
(7) 介護予防〔B調査（元気高齢者等）〕

現在、介護予防に取り組んでいるかという質問に対して、「意識して取り組んでいる」と答えた人が約4割（38.0％）を占め、「体力が落ちてきたら取り組みたい」、「もう少し歳をとってから取り組みたい」を合わせると、介護予防に興味・関心があり将来的に取り組む意向を持つ人が約5割（54.1％）となっています。

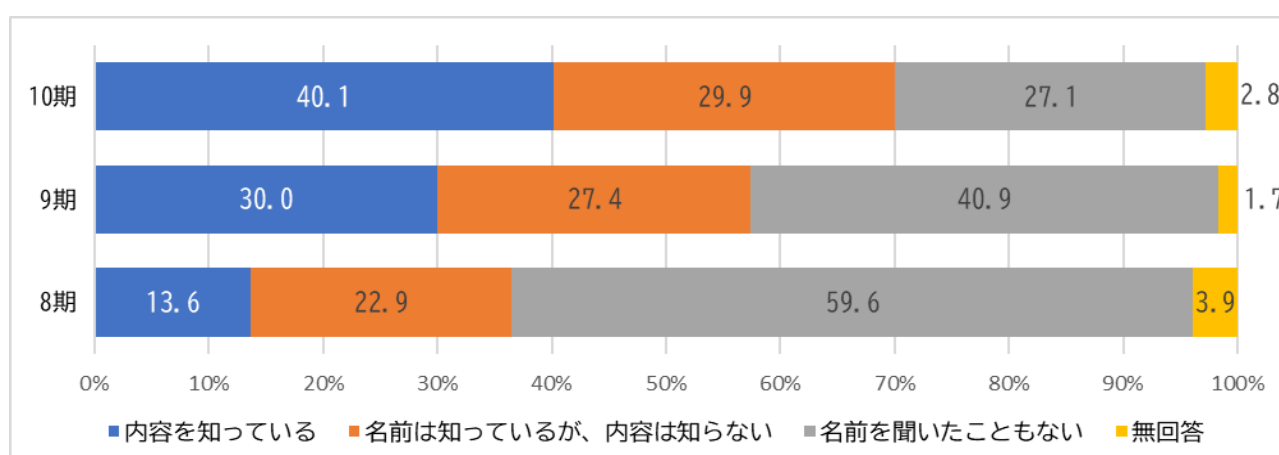
一方で、「きっかけがあれば取り組みたい」、「興味はあるが、具体的な取り組み方がわからない」とする人も約3割（29.2％）となっており、関心はあるものの実際の行動に結びついていない状況がうかがえます。

介護予防に対する潜在的なニーズは高いことから、取組開始のきっかけづくりの場への参加しやすい環境整備や、情報提供のさらなる充実が必要です。

〔B調査〕問44 現在、介護予防に取り組んでいるか



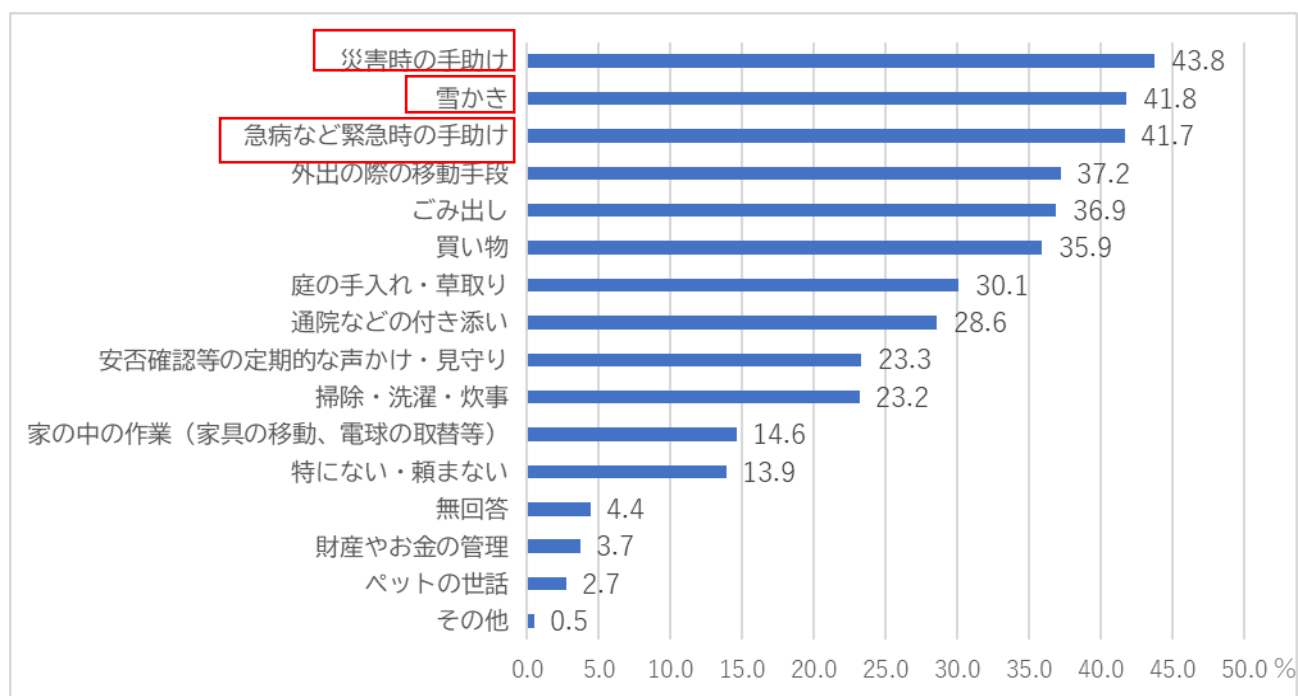
〔B調査〕問48 「フレイル」という言葉の認知状況【経年比較】



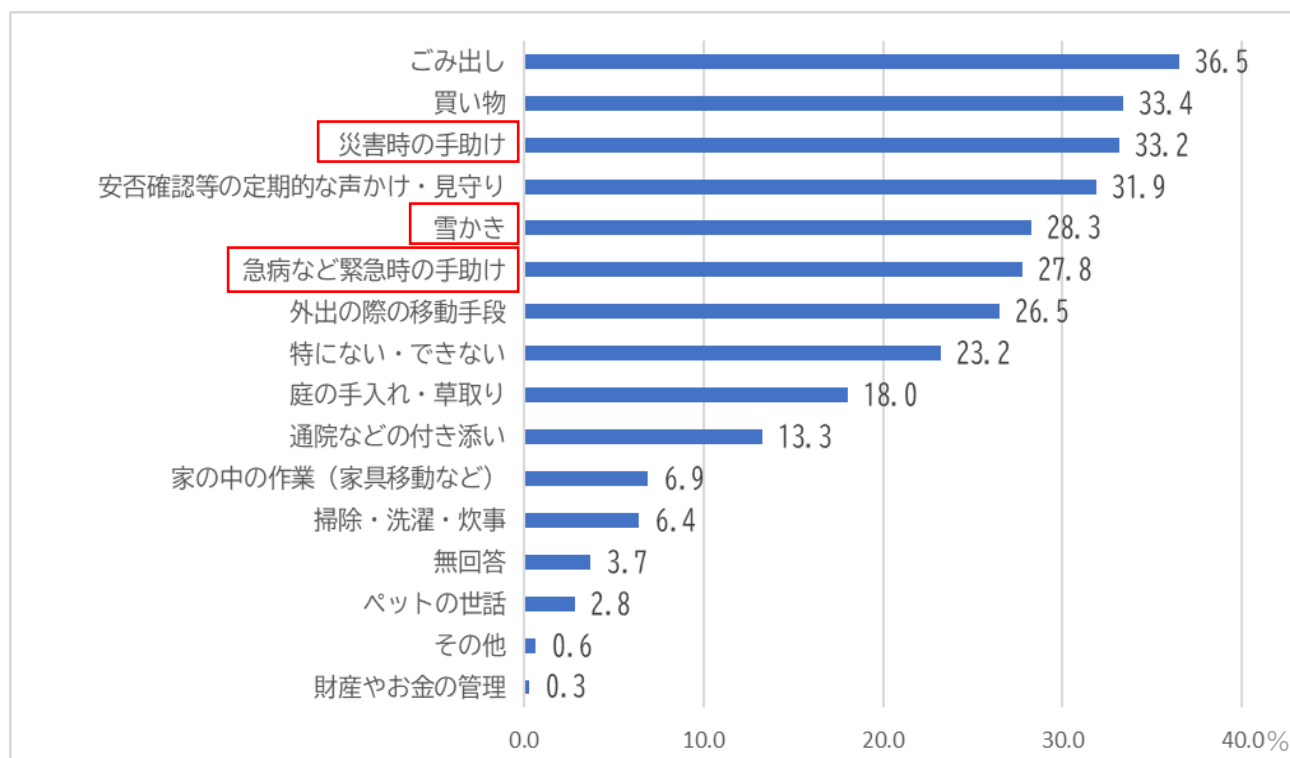
(8) 地域の人にしてほしい支援

A調査（要介護高齢者等）において、「地域の人にしてほしい支援」として上位になっている「災害時の手助け」、「雪かき」、「急病など緊急時の手助け」等と、B調査（元気高齢者等）における「隣近所や地域の人にできる支援」がほぼ一致していることから、地域の中で両者を結ぶため、支援とニーズのマッチング手段について検討が必要です。

〔A調査〕問24 地域の人にしてほしい支援（複数回答）



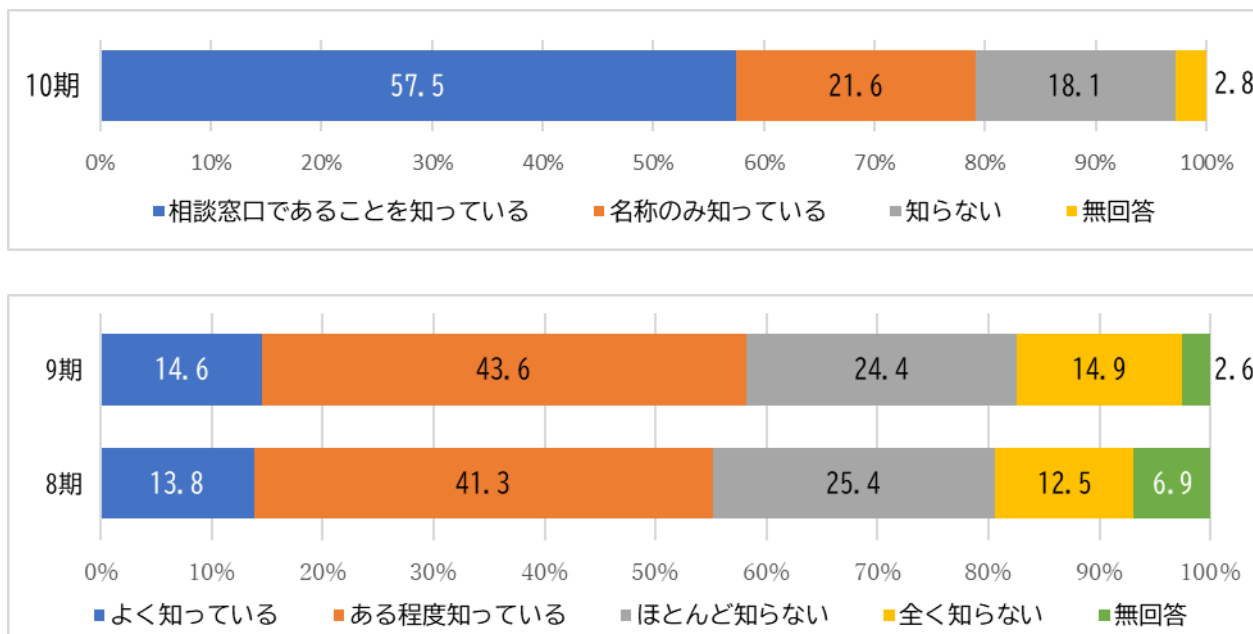
〔B調査〕問29 隣近所や地域の人にできる支援（複数回答）



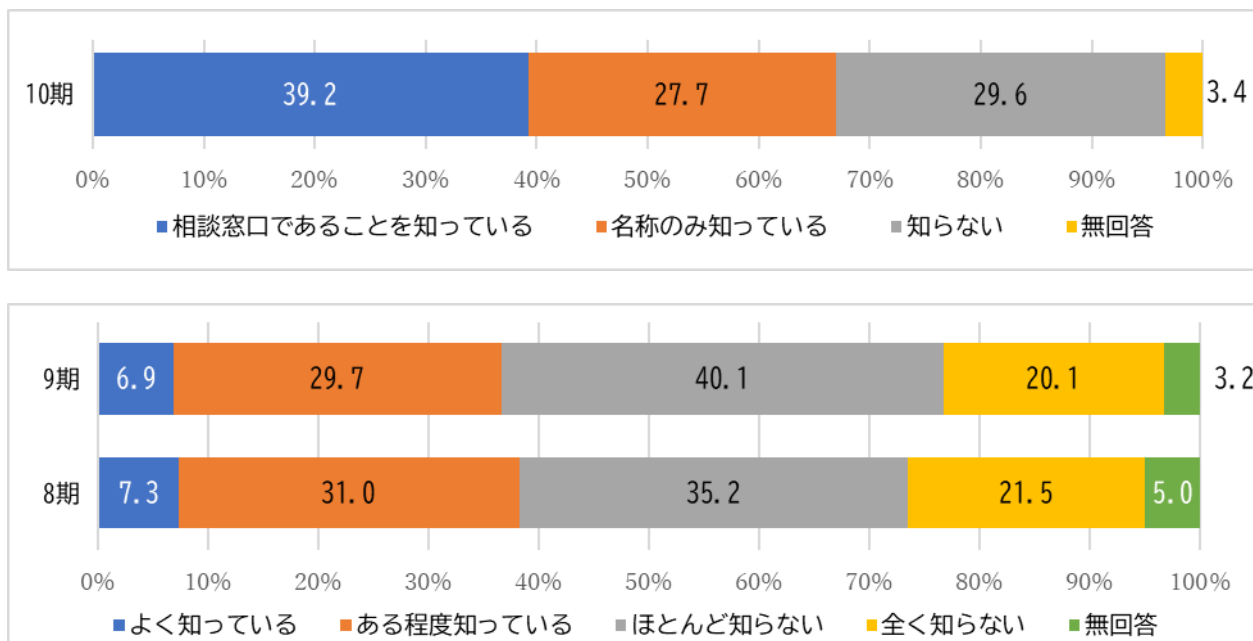
(9) 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知度は、経年で比較するとわずかに増加しているものの、特にB調査（元気高齢者等）では「相談窓口であることを知っている」人が約4割と依然として低い水準にとどまっています。このことから、必要になった時に早い段階から相談できるように、支援が必要となる前の段階からの「身近な相談窓口」としての認知向上がさらに必要となります。

〔A調査〕問39 地域包括支援センターの認知状況【経年比較】



〔B調査〕問59 地域包括支援センターの認知状況【経年比較】

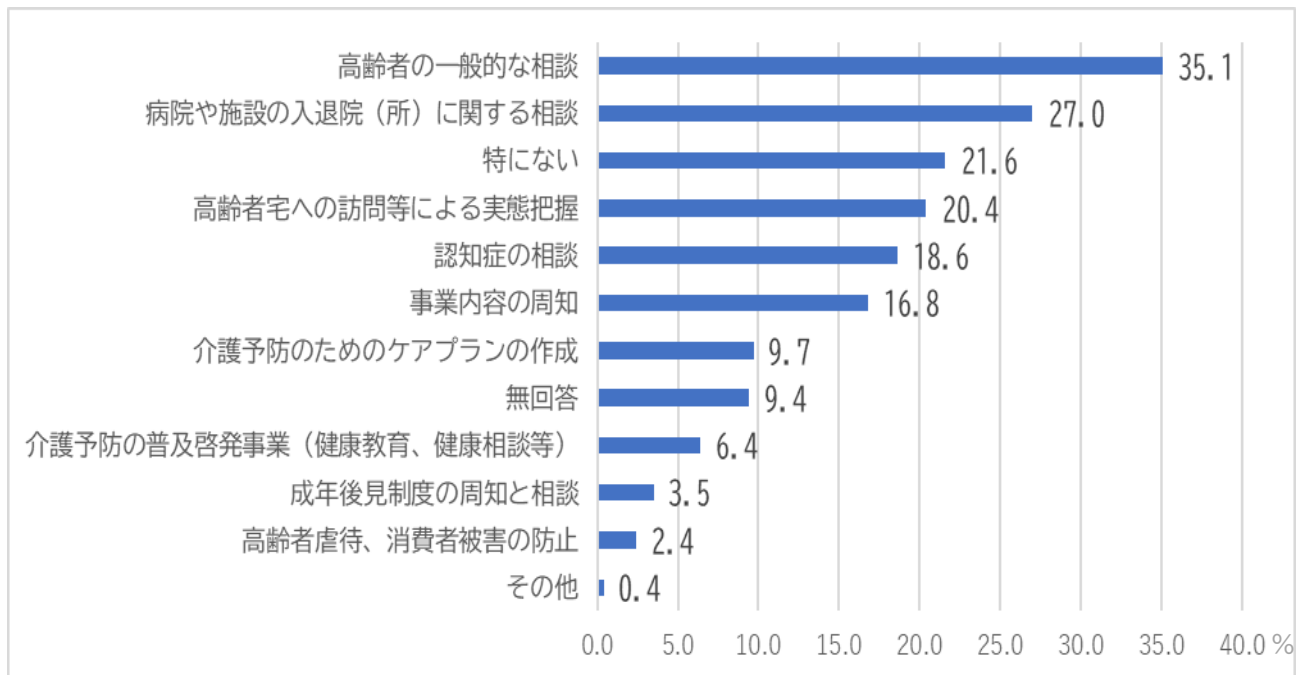


(10) 地域包括支援センターに力を入れてほしい事業

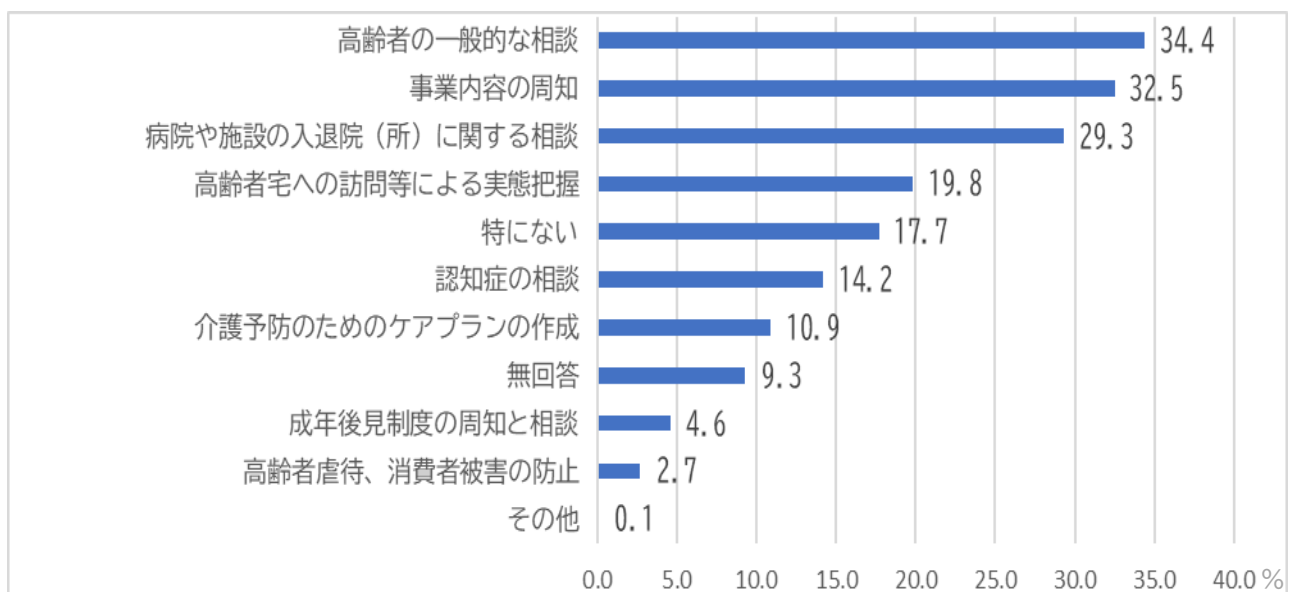
地域包括支援センターが「相談窓口であることを知っている」と答えた人は、A調査（要介護高齢者等）は約6割（57.5%）、B調査（元気高齢者等）は約4割（39.2%）となっており、認知度は上昇しています。

また、地域包括支援センターに力を入れてほしい事業として、A調査（要介護高齢者等）、B調査（元気高齢者等）ともに、「高齢者の一般的な相談」、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が、第8期・9期から順位変動なく上位を占めています。

〔A調査〕問40 地域包括支援センターに力を入れてほしい事業（複数回答）



〔B調査〕問60 地域包括支援センターに力を入れてほしい事業（複数回答）

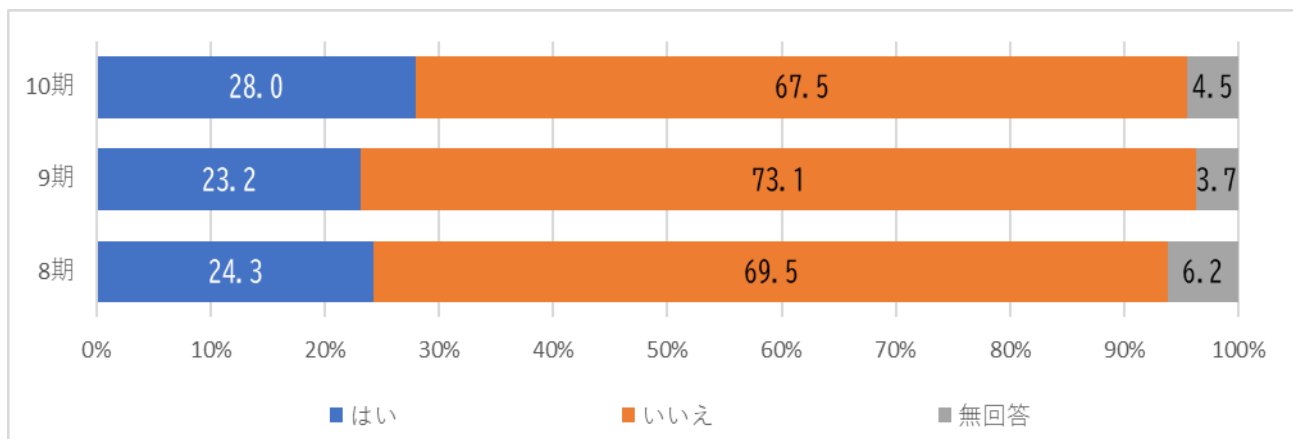


(11) 認知症について

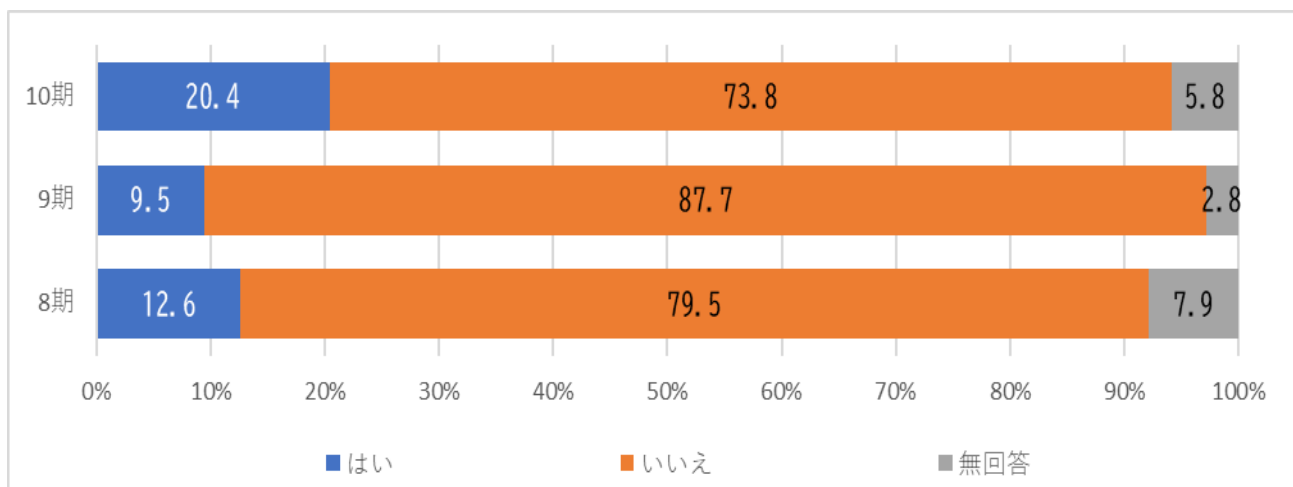
認知症に関する相談窓口の認知状況の質問では、「いいえ（知らない）」と答えた人がA調査（要介護高齢者等）、B調査（元気高齢者等）ともに「はい（知っている）」を大きく上回っています。

また、経年で比較すると、10期は「はい（知っている）」と答えた人が増加傾向にはありますが、今後、さらに広く周知するための施策が必要です。

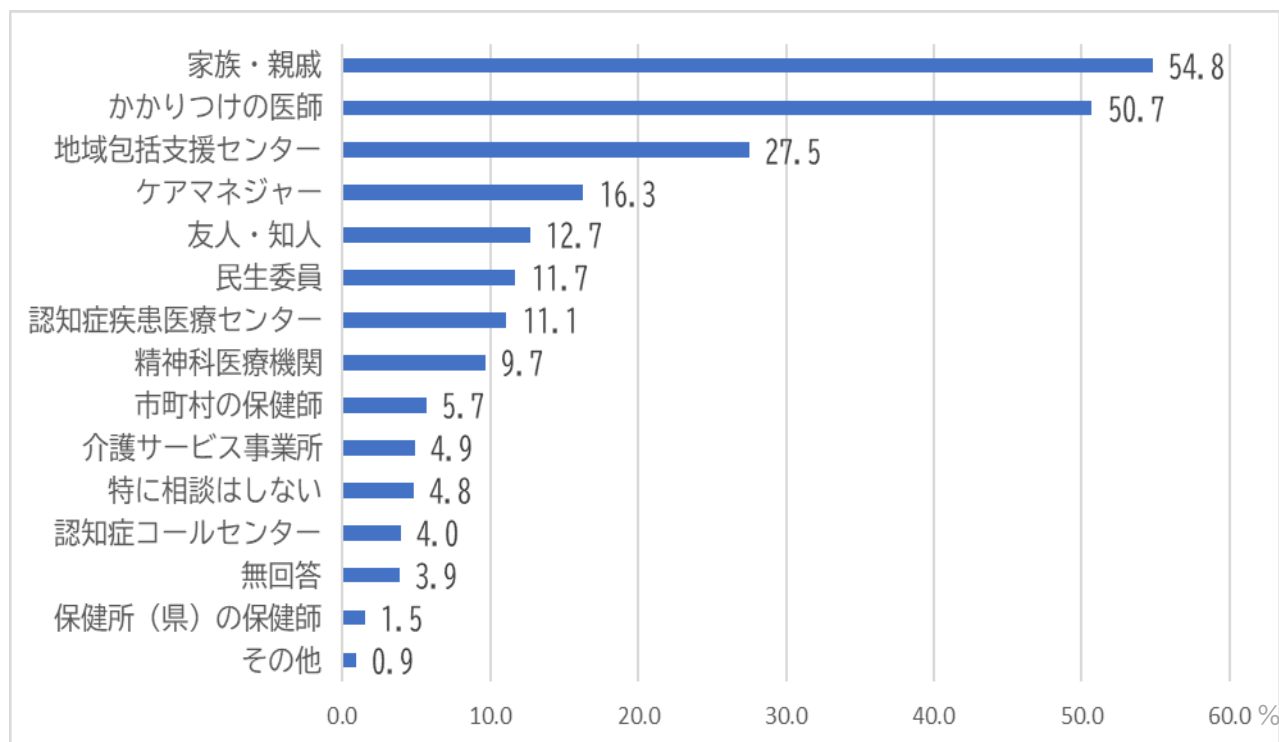
〔A調査〕問42 認知症に関する相談窓口の認知状況【経年比較】



〔B調査〕問64 認知症に関する相談窓口の認知状況【経年比較】



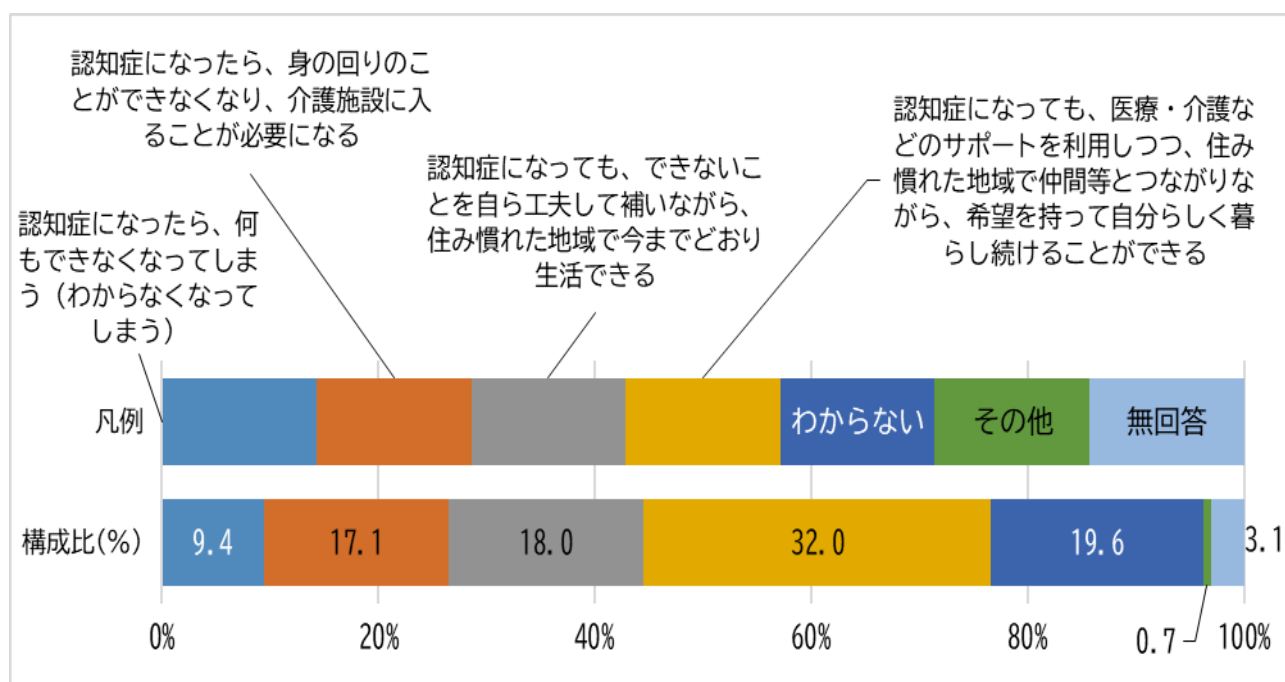
〔B調査〕問63 身近な方に認知症の疑いがある時の相談先（複数回答）



認知症についてのイメージとして、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しつつ、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と答えた人が32.0%と最も多くなっています。

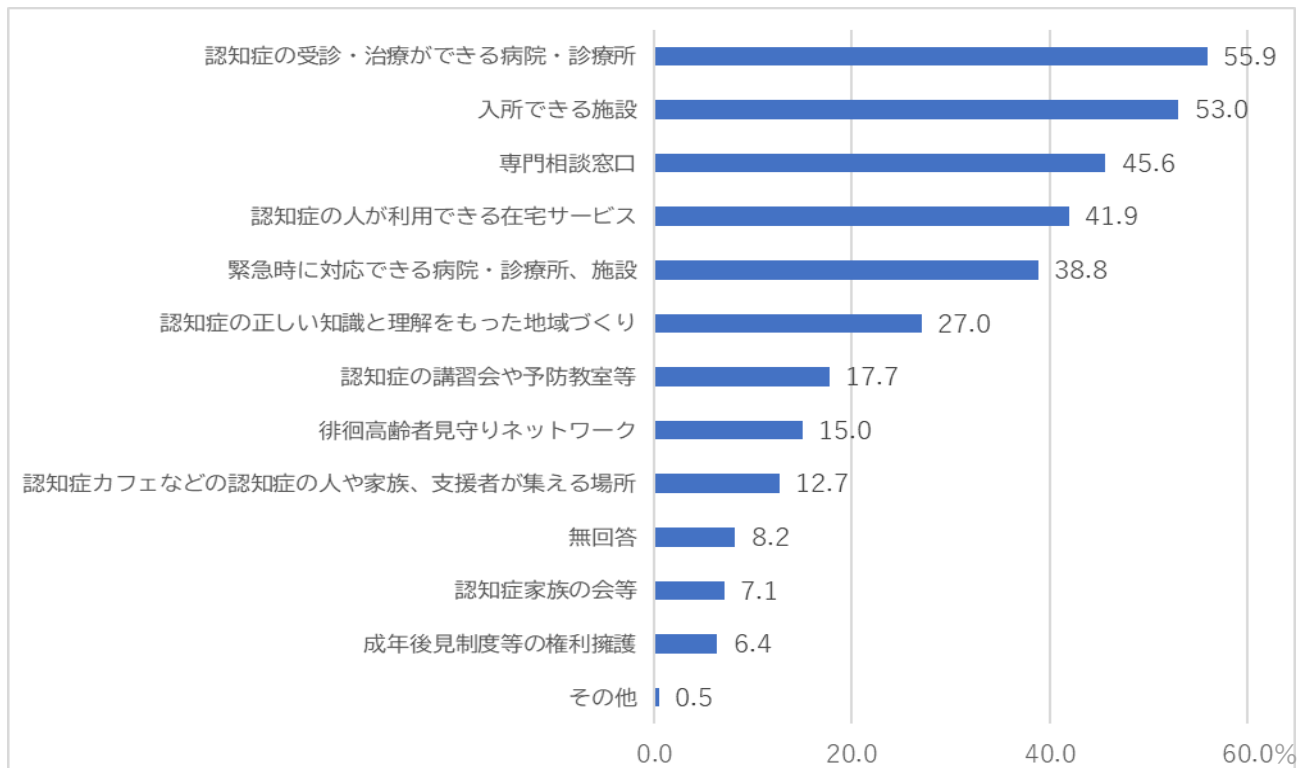
また、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、住み慣れた地域で今までどおり生活できる」（18.0%）を合わせると、5割（50.0%）の人が、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができると考えています。

〔B調査〕問61 認知症についてどのようなイメージを持っているか

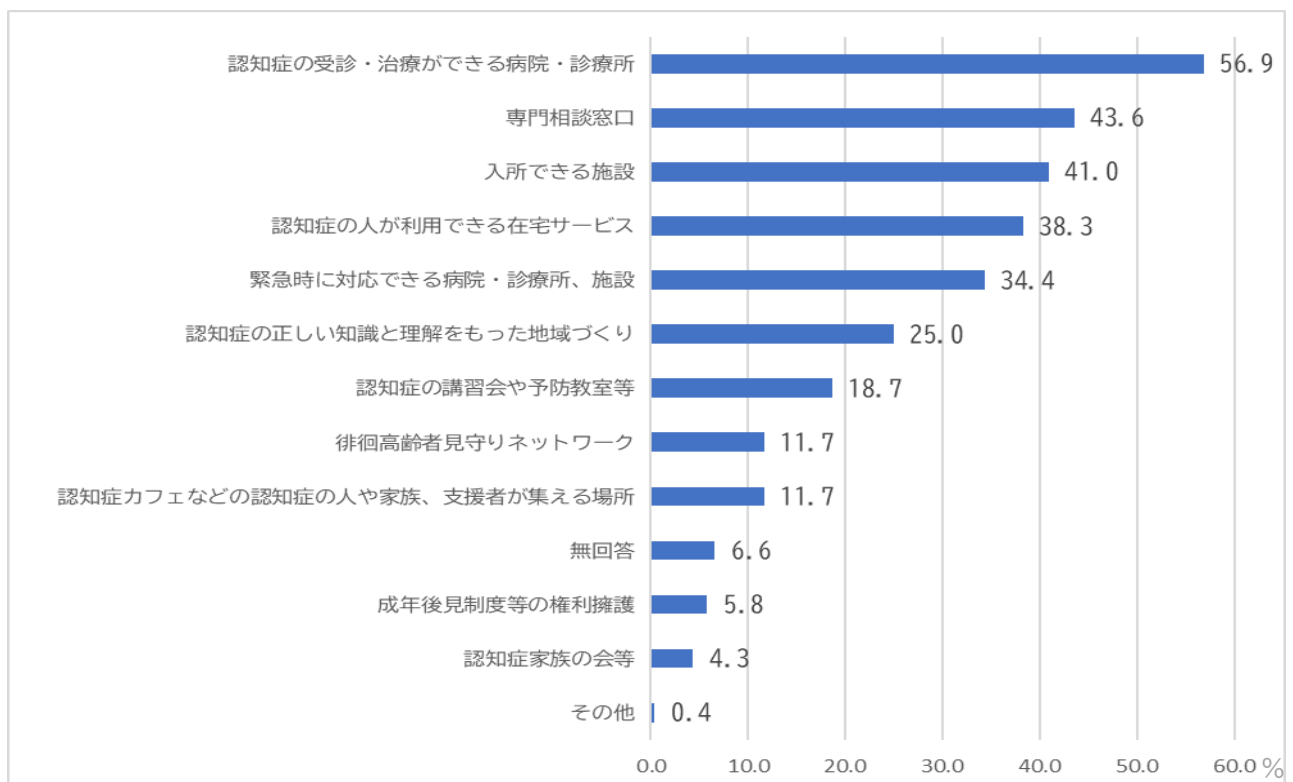


認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なことは、A調査（要介護高齢者等）、B調査（元気高齢者等）ともに、「認知症の受診・治療ができる病院・診療所」、「入所できる施設」、「専門相談窓口」等が上位を占めています。

〔A調査〕問44 認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと（複数回答）



〔B調査〕問67 認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと（複数回答）

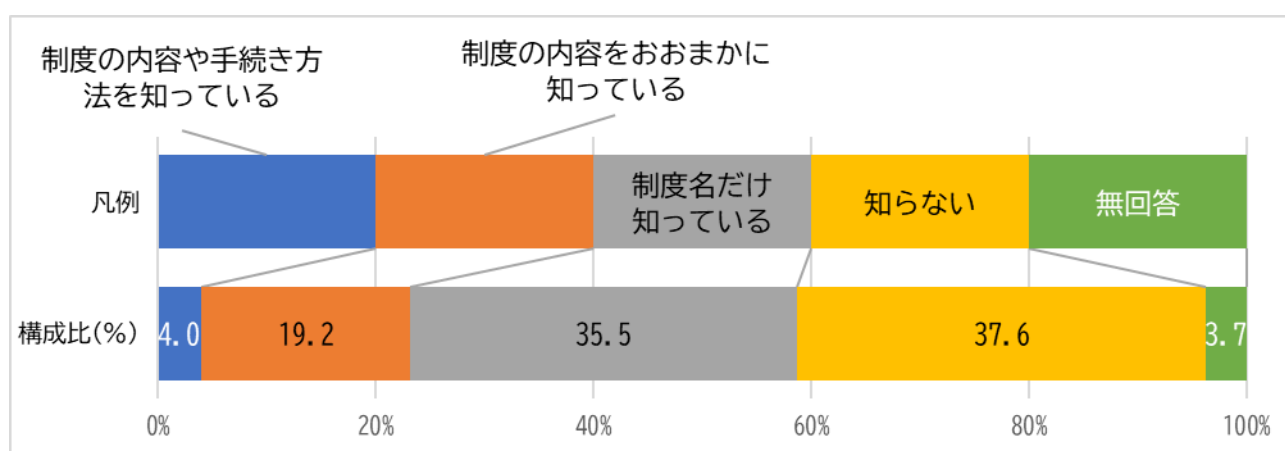


(12) 成年後見制度の認知状況について

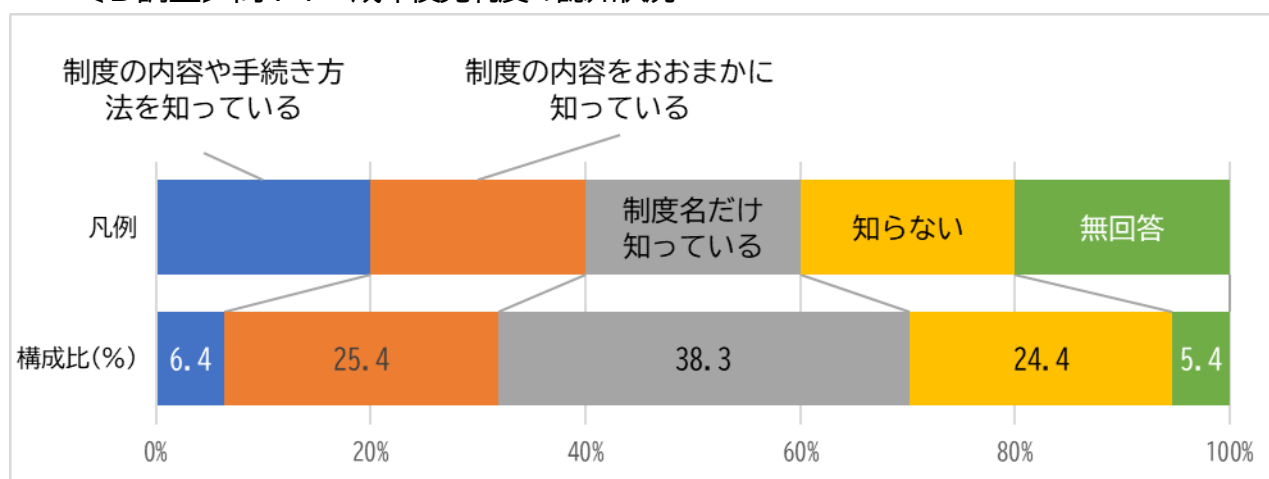
成年後見制度の認知状況については、「制度の内容や手続き方法を知っている」と答えた人は、A調査（要介護高齢者等）4.0％、B調査（元気高齢者等）では6.4％と少数にとどまり、多くは制度名のみ認知または未認知の段階にあります。特に、A調査（要介護高齢者等）では「知らない」とする割合が37.6％と高く、必要性が高い層ほど理解が進んでいない状況がうかがえます。

一方で、B調査（元気高齢者等）では相対的に認知度が高く、制度理解の入口段階にはあると考えられます。制度の単なる名称の浸透にとどまらず、具体的な利用場面や手続きの流れまで踏み込んだ情報提供を強化し、必要な人が相談や成年後見制度の利用に早期につながるための周知がさらに必要です。

〔A調査〕問47 成年後見制度の認知状況



〔B調査〕問71 成年後見制度の認知状況



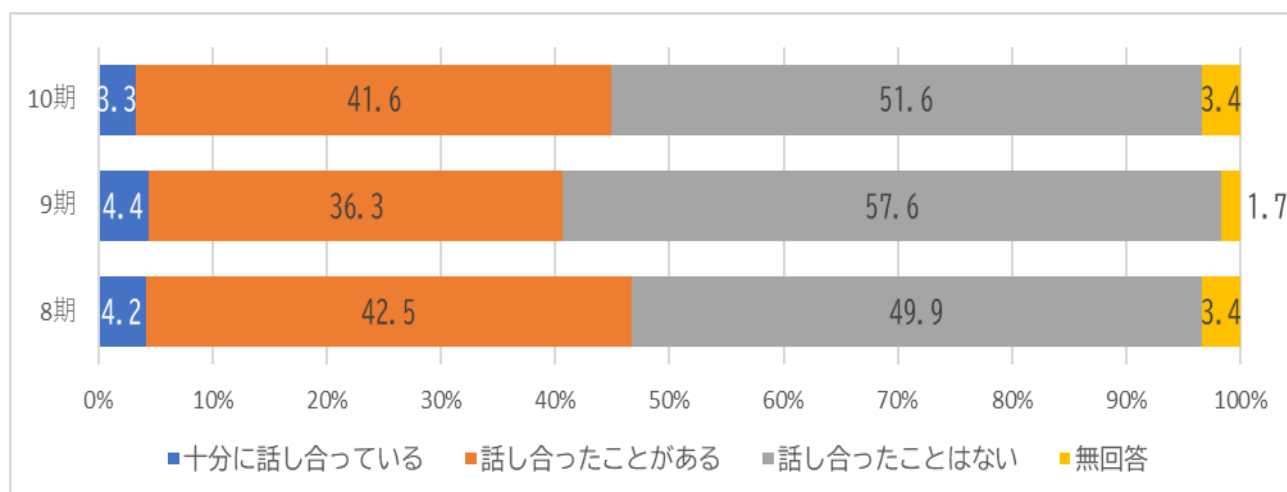
(13) 終活について〔B調査（元気高齢者等）〕

人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合った経験の有無に関しては、「話し合ったことがある」と答えた人の割合が増加傾向にあり、終末期に対する関心の高まりがうかがえます。一方で、「話し合ったことがない」と答えた人が依然として約半数を占めており、十分な対話には至っていない状況が見られます。

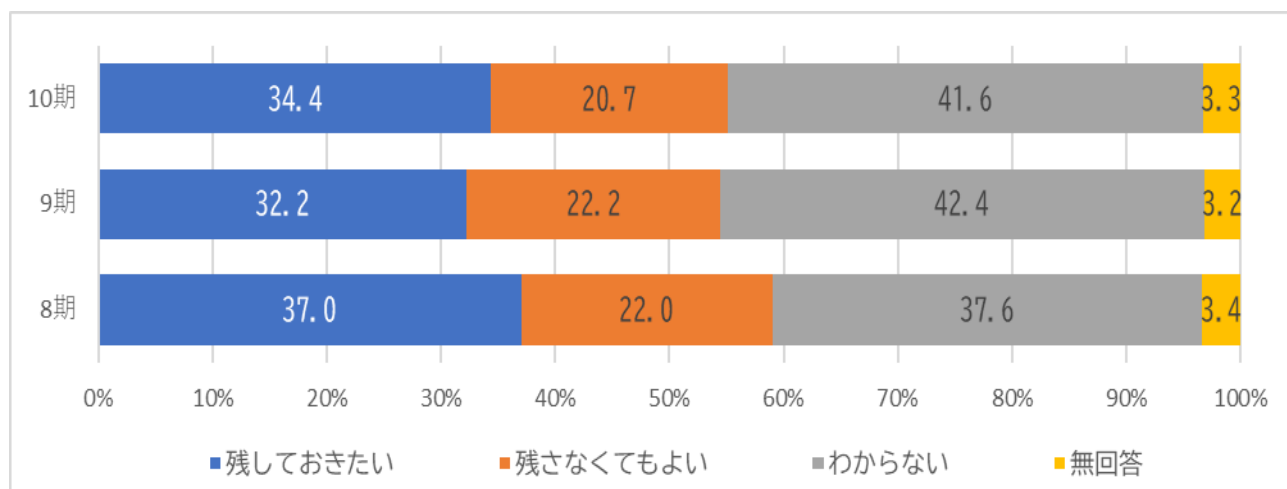
また、エンディングノート等により意思を残すことについては、一定の関心はあるものの、実際に具体的な行動に移している層は限定的です。

このことから、終活に対する意識は高まりつつある一方で、具体的な行動や家族間での共有には課題があり、今後は話し合いのきっかけづくりや意思表示を促す取組がさらに必要となります。

〔B調査〕問57 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合った経験の有無（延命治療、財産管理、葬儀のこと等）【経年比較】



〔B調査〕問58 エンディングノート等により自分の意思を書面に残しておきたいか【経年比較】

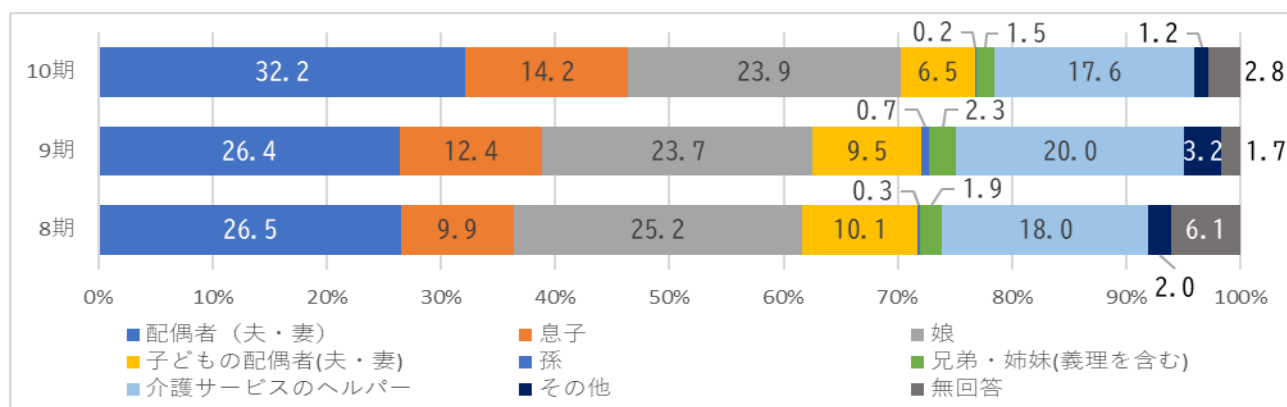


(14) 主な介護・介助者〔A調査（要介護高齢者等）〕

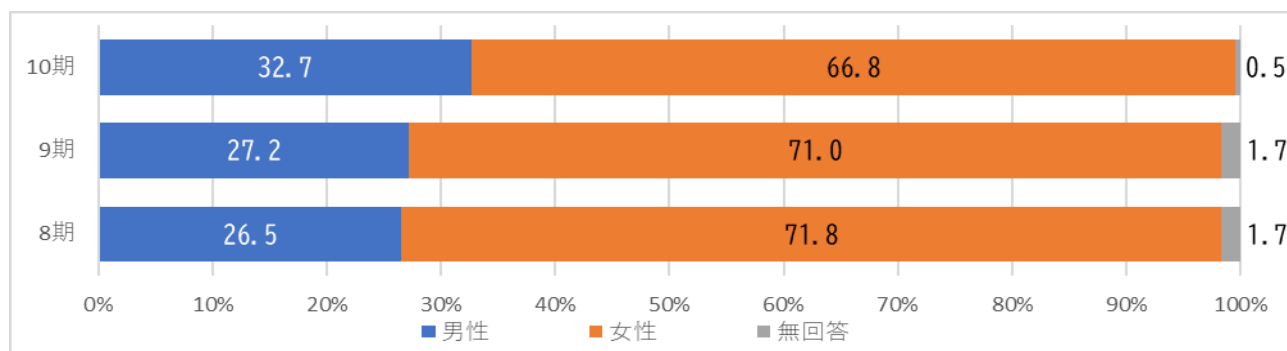
今回の調査結果では、主な介護・介助者は、配偶者（32.2%）、娘（23.9%）と、身近な家族が半数以上を占め、性別では、女性が男性に比べて約2倍となっています。また、年齢で見ると、60代以上と答えた人は全体の7割（70.9%）を占めています。

経年比較では、主な介護・介助者は「配偶者（夫・妻）」が中心である状況に大きな変化はありませんが、10期では「息子」の割合が増加しています。また、性別で見ると、依然として「女性」が多数を占めるものの、男性介護者の割合も上昇しており、これまで女性に偏りがちであった介護の担い手が広がりつつあると考えられます。

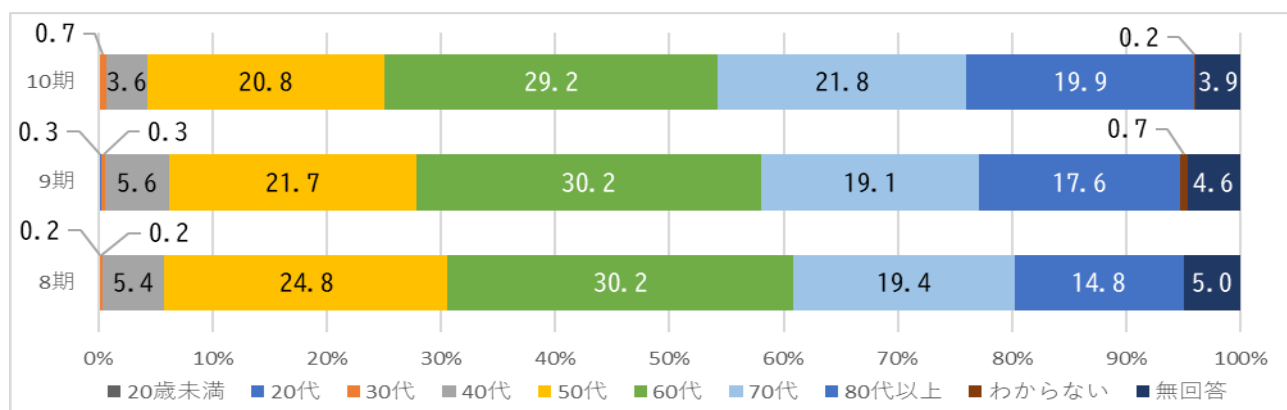
〔A調査〕問49-2 主な介護・介助者【経年比較】



〔A調査〕問49-3 主な介護・介助者の性別【経年比較】



〔A調査〕問49-4 主な介護・介助者の年齢【経年比較】

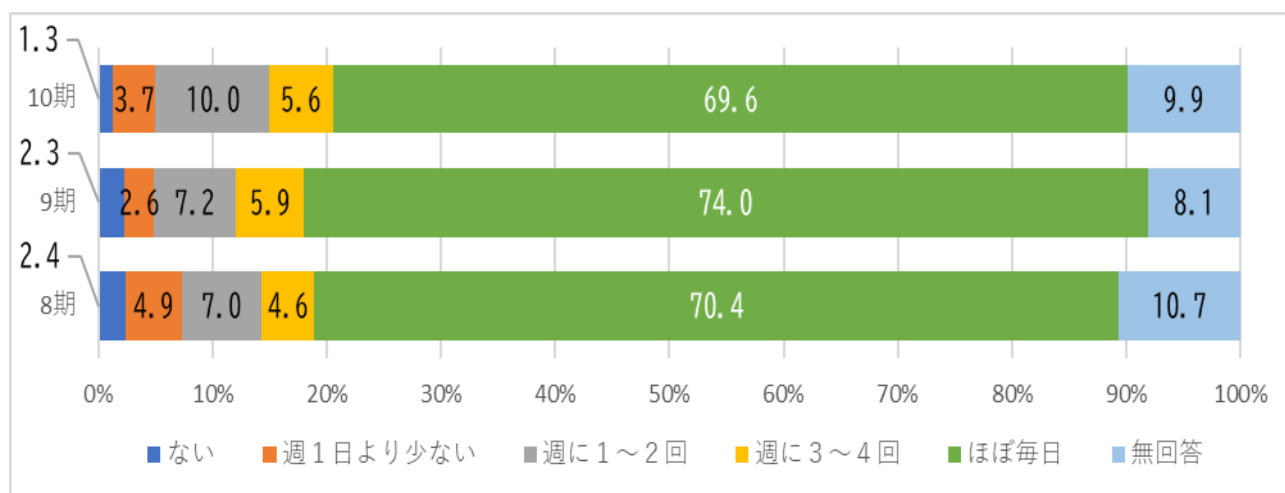


(15) 介護・介助の頻度等〔A調査（要介護高齢者等）〕

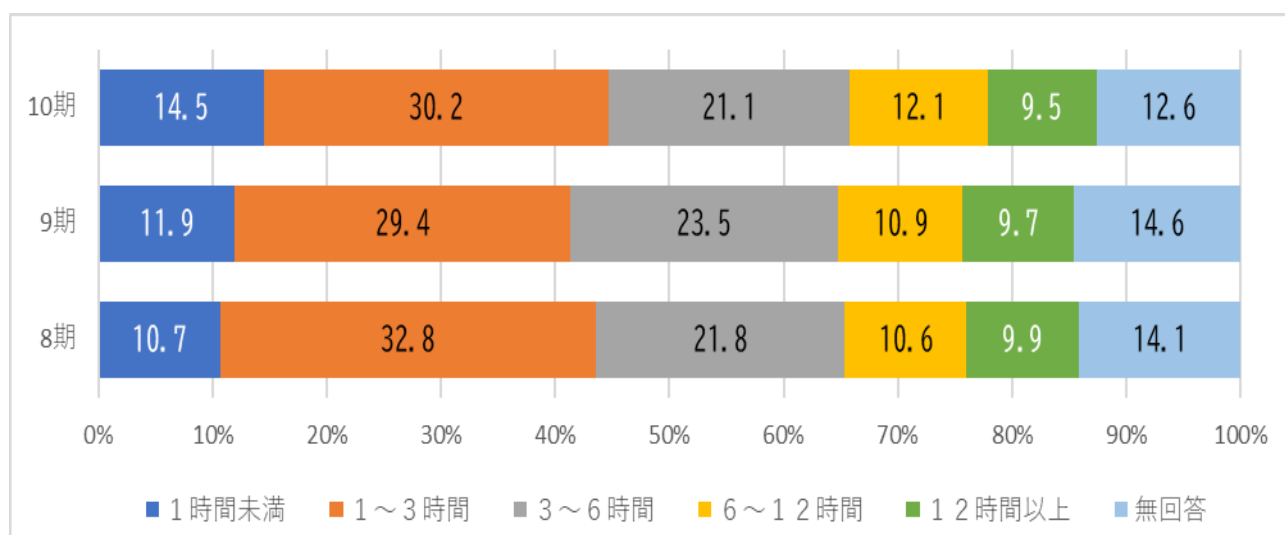
介護・介助する1週間当たりの頻度は、「ほぼ毎日」が約7割（69.6％）と最も多い結果となりました。また、1日当たりの介護・介助にかけている時間は「1～3時間未満」、「3～6時間未満」が多く、合わせて全体の約5割（51.3％）を占めており、長時間の介護・介助を家族が担っていることがうかがえます。

なお、経年比較では、1日当たりの介護・介助にかけている時間として「1時間未満」と答えた人が微増傾向にあります。

〔A調査〕問49－6 家族、親族が介護・介助する頻度（1週当たり）【経年比較】



〔A調査〕問63 介護・介助にかけている時間（1日当たり）【経年比較】

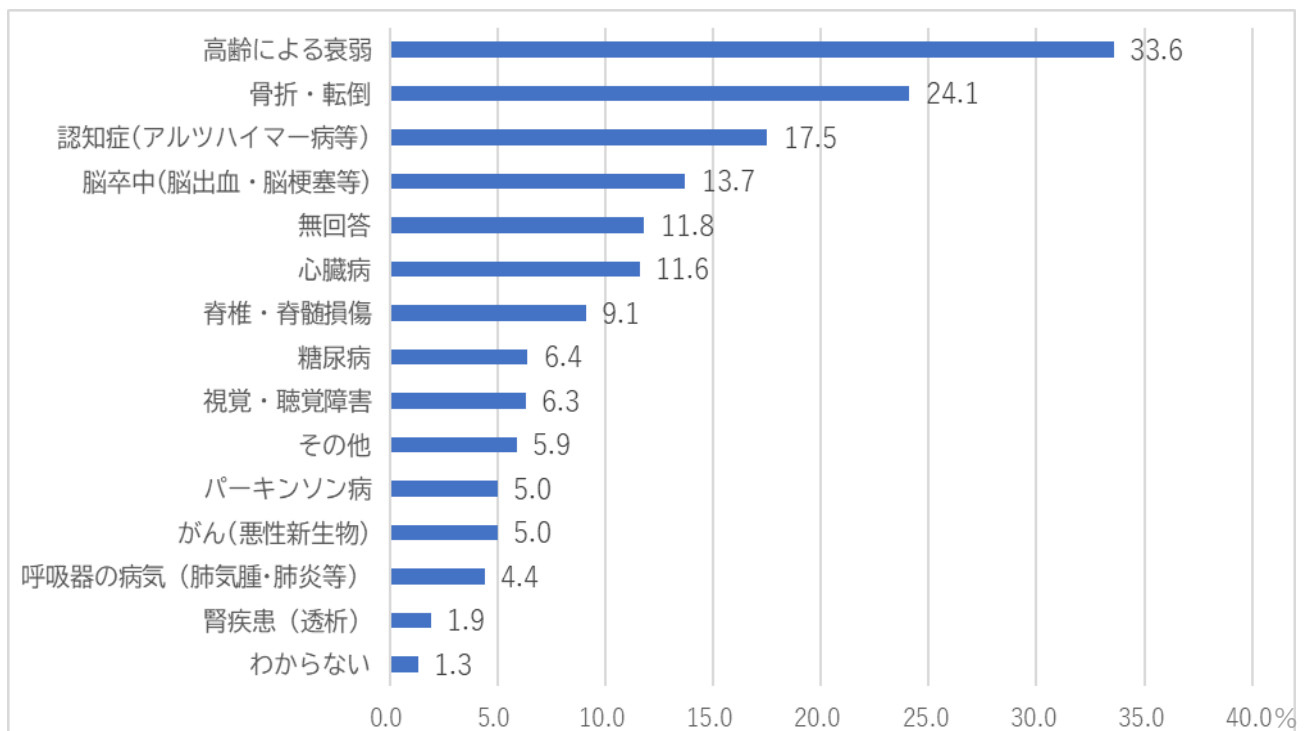


介護・介助が必要となった主な原因としては、「高齢による衰弱」が33.6%と最も多く、加齢に伴う身体機能の低下が大きな要因となっていることがうかがえます。

一方で、「骨折・転倒」(24.1%)や、「認知症(アルツハイマー病等)」(17.5%)も上位を占めており、これらは適切な予防や早期発見により、発生や進行を一定程度抑制できる可能性があります。

今回の調査では、「高齢による衰弱」が主因となっていることから、加齢そのものに伴う要因への対応には限界があるものの、転倒予防や認知症予防等の取組みをさらに推進することで、介護状態への移行や重度化の抑制に一定の効果があると考えられます。

〔A調査〕問49-1 介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）

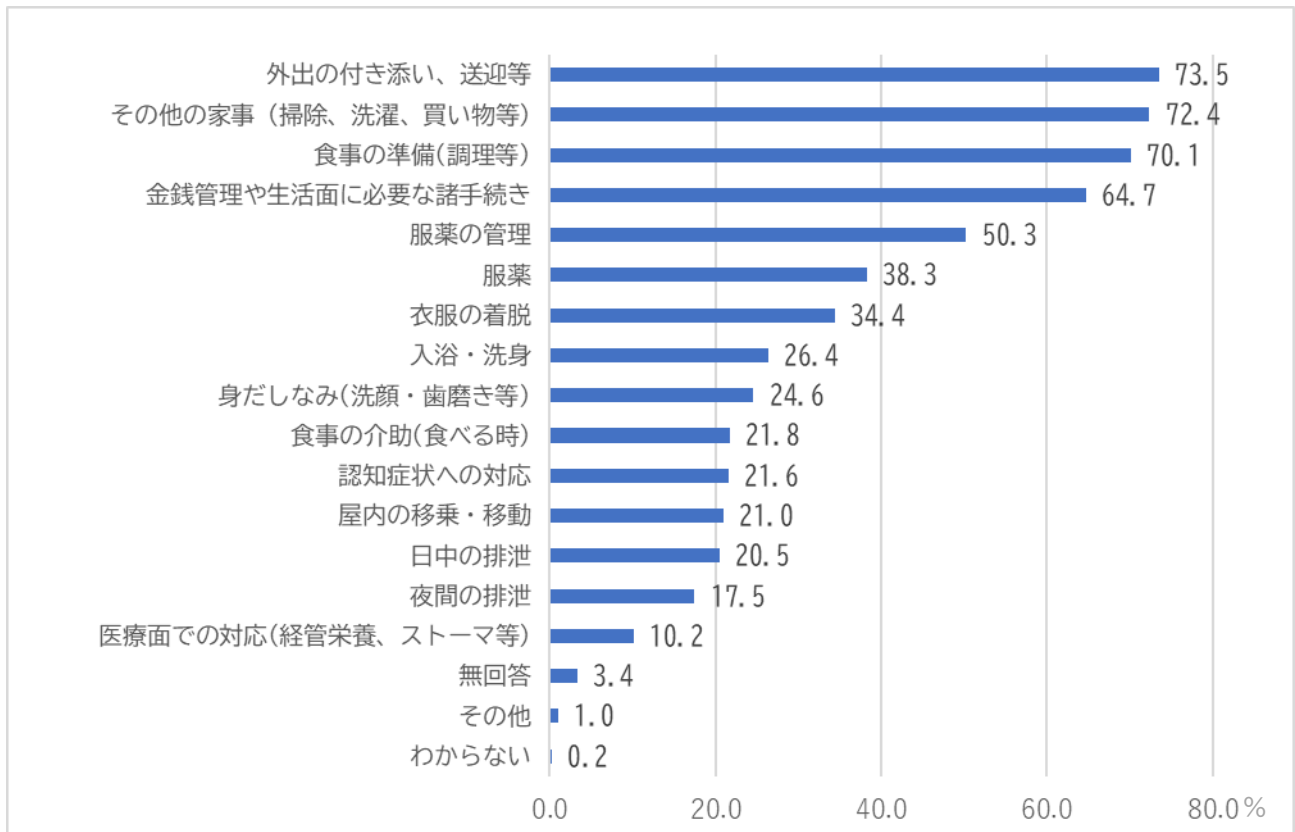


現在行っている主な介護の内容については、「外出の付き添い、送迎等」(73.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(72.4%)、「食事の準備(調理等)」(70.1%)が上位を占めており、日常生活を支える生活支援が中心となっています。一方で、「入浴・洗身」や「排泄介助」などの身体介護は相対的に割合が低くなっています。

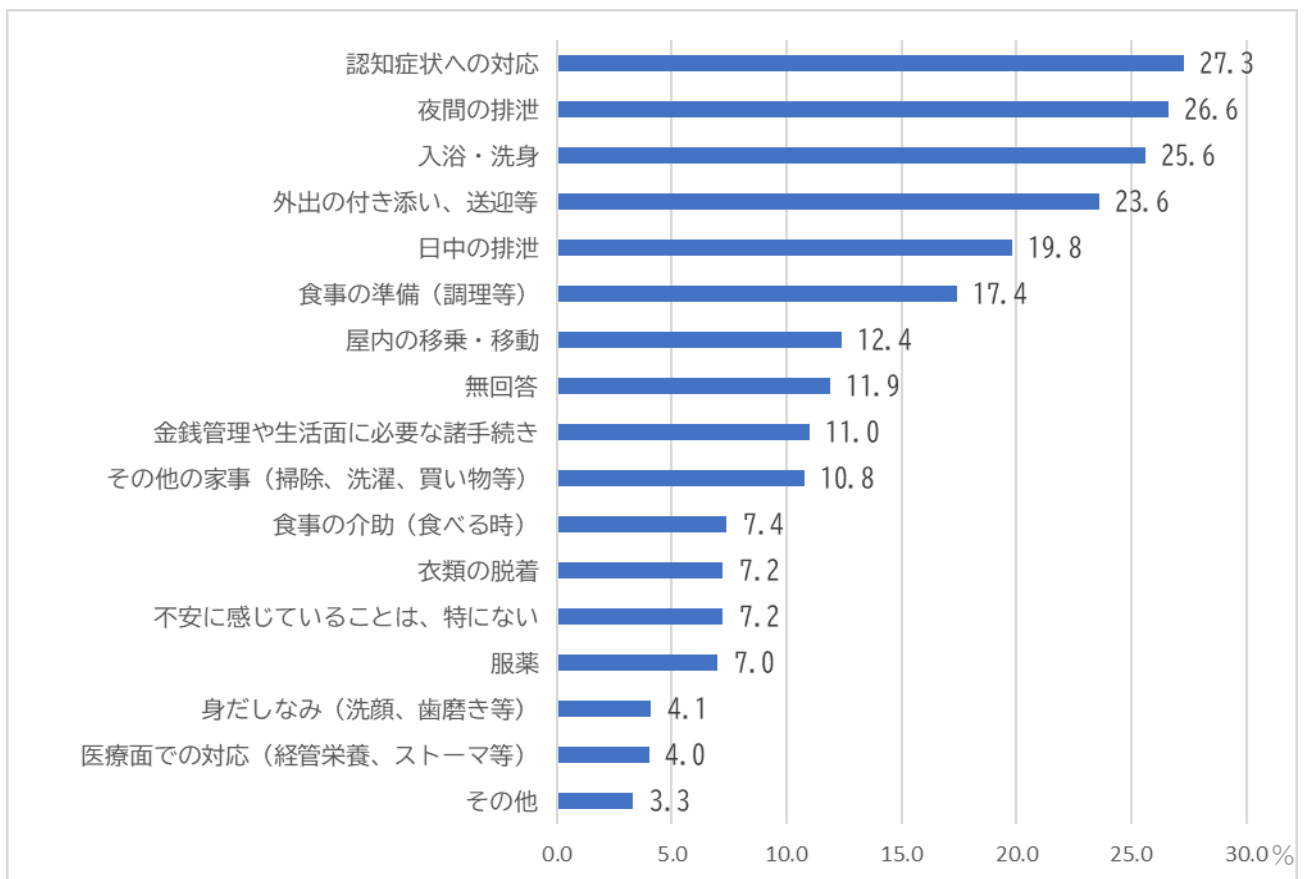
今後、現在の生活を継続するに当たって不安に感じていることは、「認知症状への対応」(27.3%)が最も多く、次いで「夜間の排泄」(26.6%)、「入浴・洗身」(25.6%)となっています。

現在は生活支援を中心とした介護が行われている中で、将来的な身体介護や認知症対応への不安が大きいことが示唆されます。

〔A調査〕問49-7 主な介護・介助者が行っている介護（複数回答）

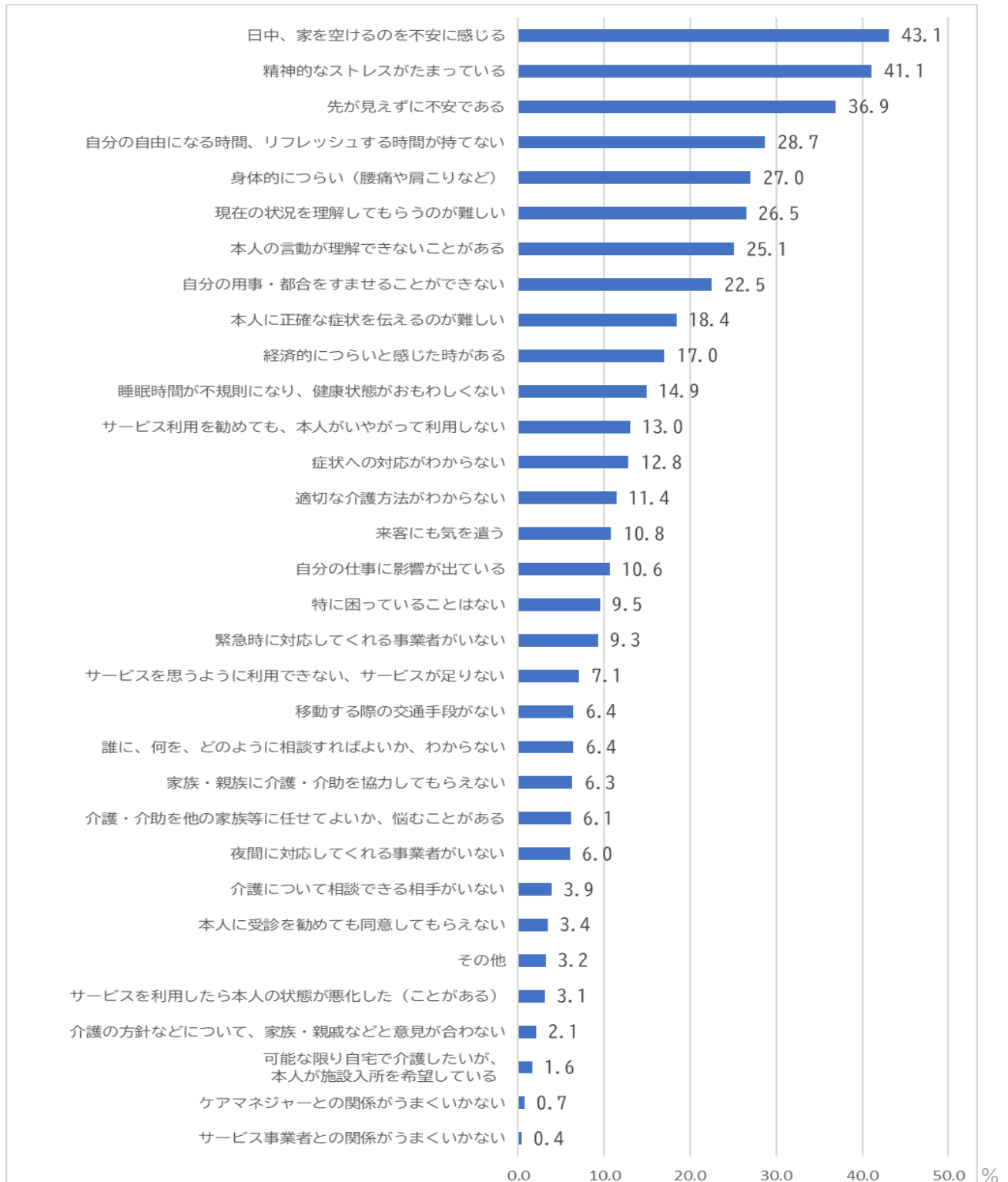


〔A調査〕問65 現在の生活を継続していくに当たって、主な介護・介助者が不安に感じる介護等（複数回答）



主な介護・介助者が困っていることとしては、「日中、家を空けることへの不安」(43.1%)、「精神的なストレス」(41.1%)、「先が見えず不安」(36.9%)が上位を占めており、精神的負担や将来不安の大きさがうかがえます。また、「自由な時間が持てない」、「身体的につらい」などの項目も一定割合を占めており、時間的・身体的負担も重なっている状況が見られます。さらに、「現在の状況を理解してもらうのが難しい」、「本人の言動が理解できない」など、周囲との関係性や本人への対応に関する困難さも生じていることがうかがえます。

〔A調査〕問66 主な介護・介助者が介護・介助する上で困っていること(複数回答)

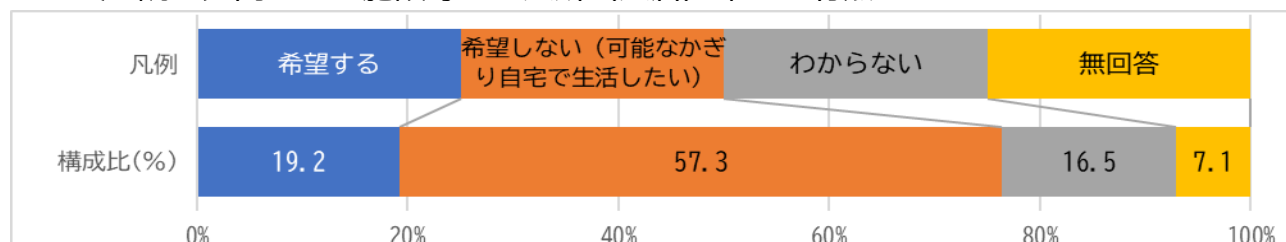


(16) 施設等の入所希望について

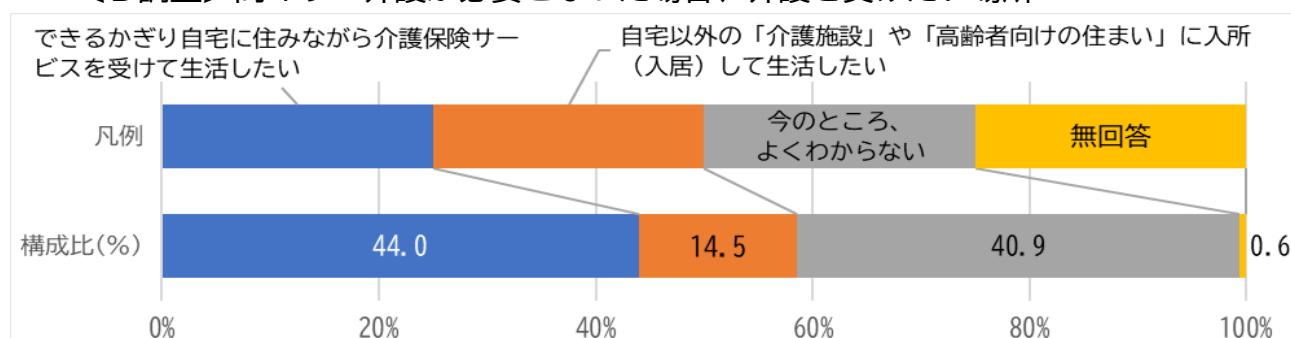
A調査（要介護高齢者等）、B調査（元気高齢者等）ともに「可能な限り自宅で生活したい」、「できるかぎり自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい」と在宅志向が強いことがうかがえます。

自宅で暮らし続けるために必要な支援は、「緊急時など、必要な時にショートステイや宿泊サービスが利用できること」、「通院などの際、送迎サービスを受けられること」、「自宅に医師が訪問して診療してくれること」等のニーズが高くなっています。

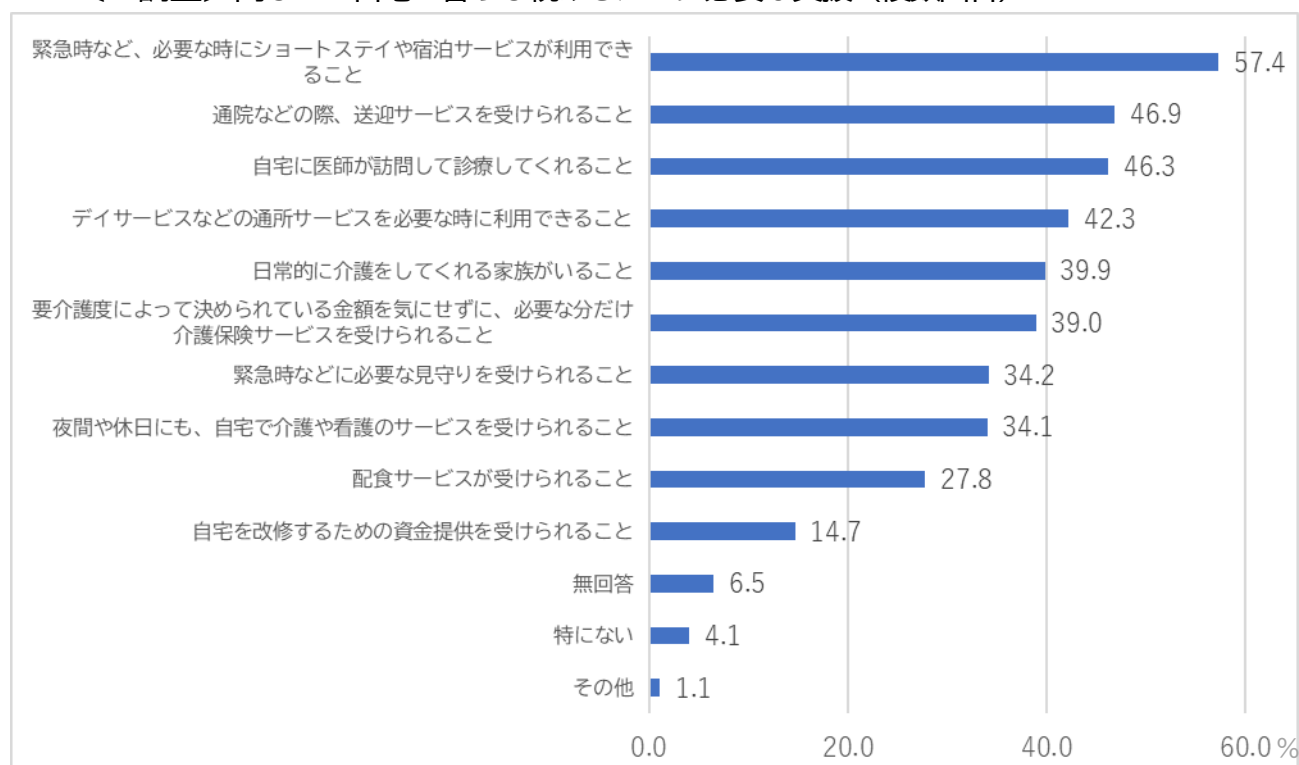
〔A調査〕問55 施設等への入所（入居）希望の有無



〔B調査〕問49 介護が必要となった場合、介護を受けたい場所



〔A調査〕問57 自宅で暮らし続けるために必要な支援（複数回答）

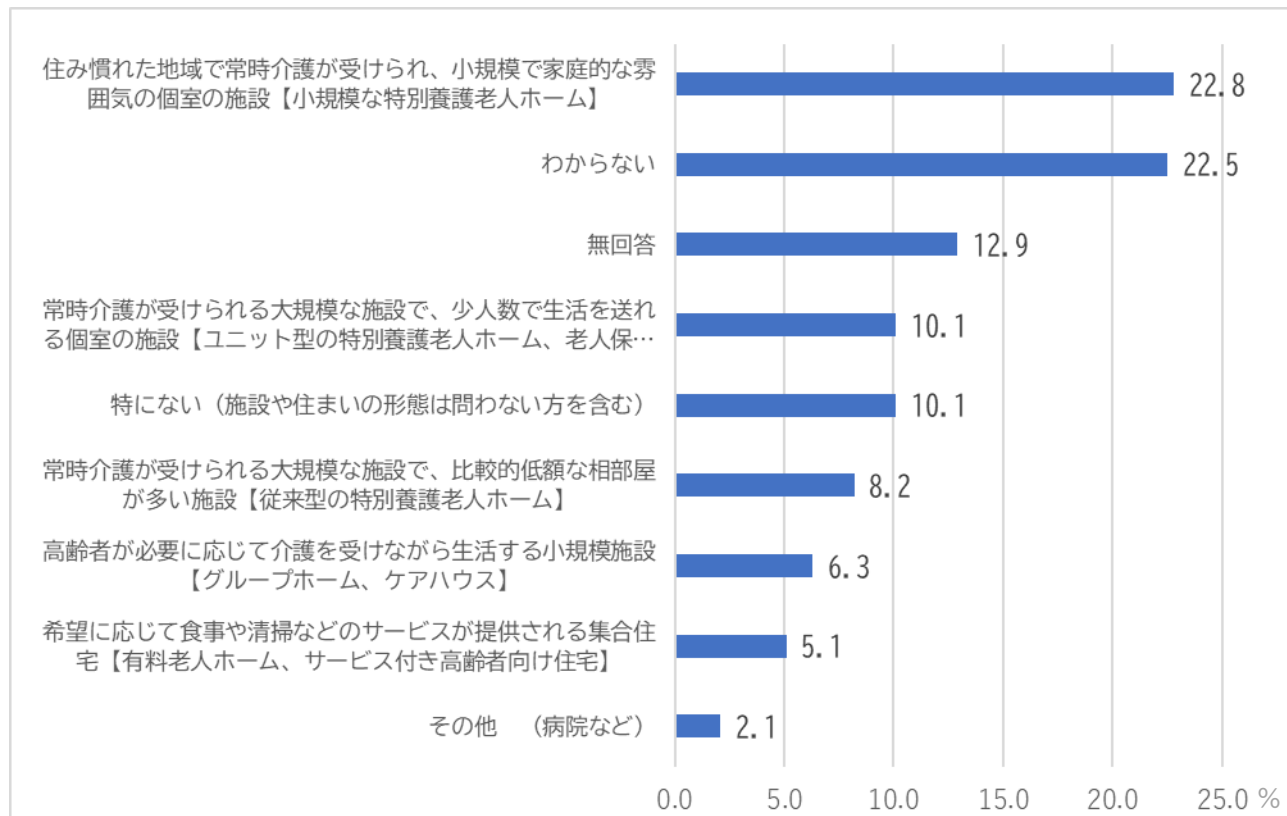


(17) 希望する「施設」や「住まい」の形態

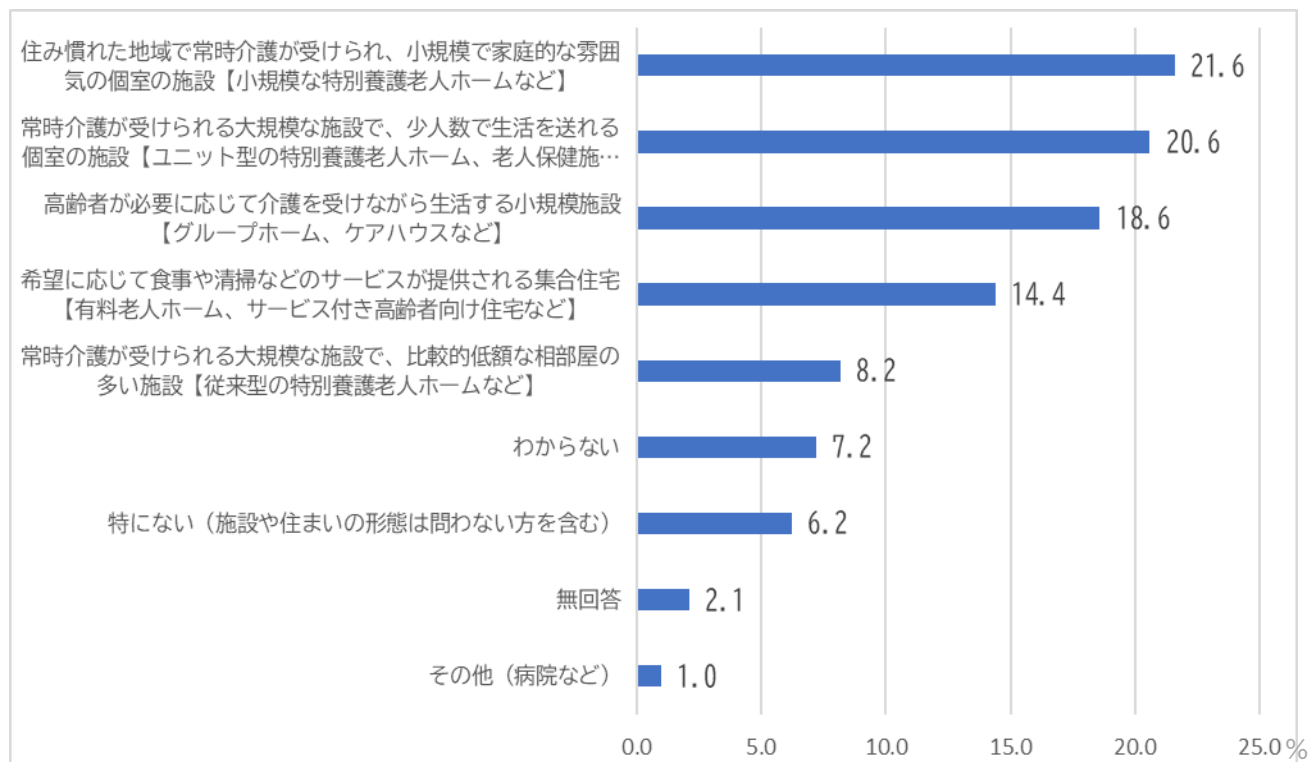
施設入所（入居）が必要となった時は、「小規模で家庭的な雰囲気のある個室の施設（小規模な特別養護老人ホームなど）」を望む方が多くなっています。

〔A調査〕問56 最も希望する「施設」や「住まい」の形態

入所（入居）を希望する「施設」や「高齢者向けの住まい」の形態



〔B調査〕問49-4 最も希望する「施設」や「住まい」の形態



(18) 今後、介護や高齢者に必要な施策について

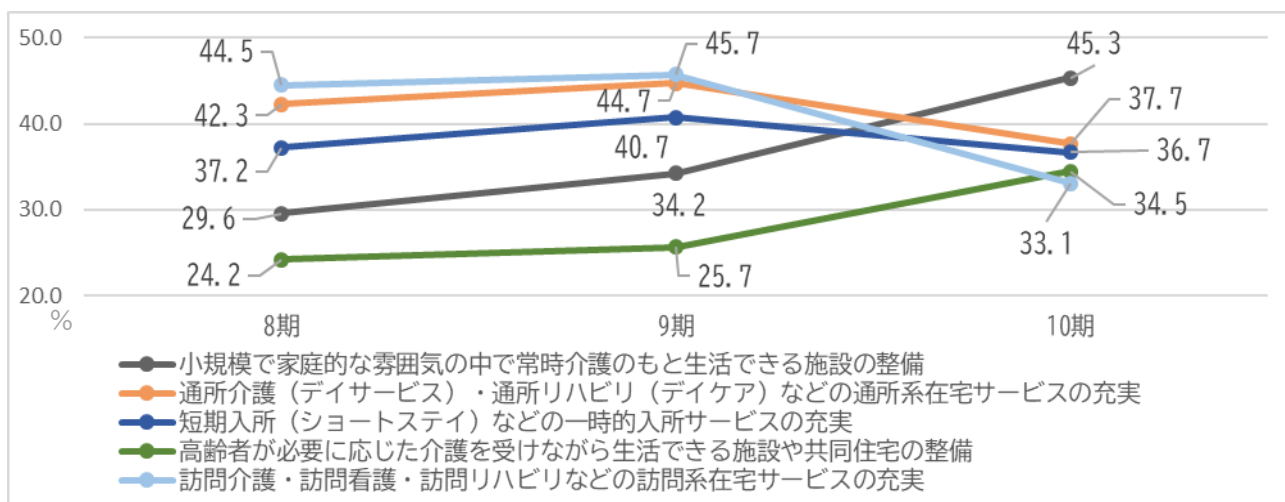
「小規模で家庭的な雰囲気の中で常時介護のもと生活できる施設の整備」、「高齢者が必要に応じた介護を受けながら生活できる施設や共同住宅の整備」を挙げる割合が最も高く、伸び率も大きいことから、地域密着型サービス施設や有料老人ホームなどの施設整備ニーズの高まりがうかがえます。

「通所系在宅サービスの充実」、「訪問系在宅サービスの充実」を望む割合は、前回と比較して低下しているものの、依然として可能な限り住み慣れた地域・自宅で生活を継続したいとする在宅志向が強いこともうかがえ、身体状況等の変化に応じて選択・移行できる多様なサービス基盤の整備が求められていると考えられます。

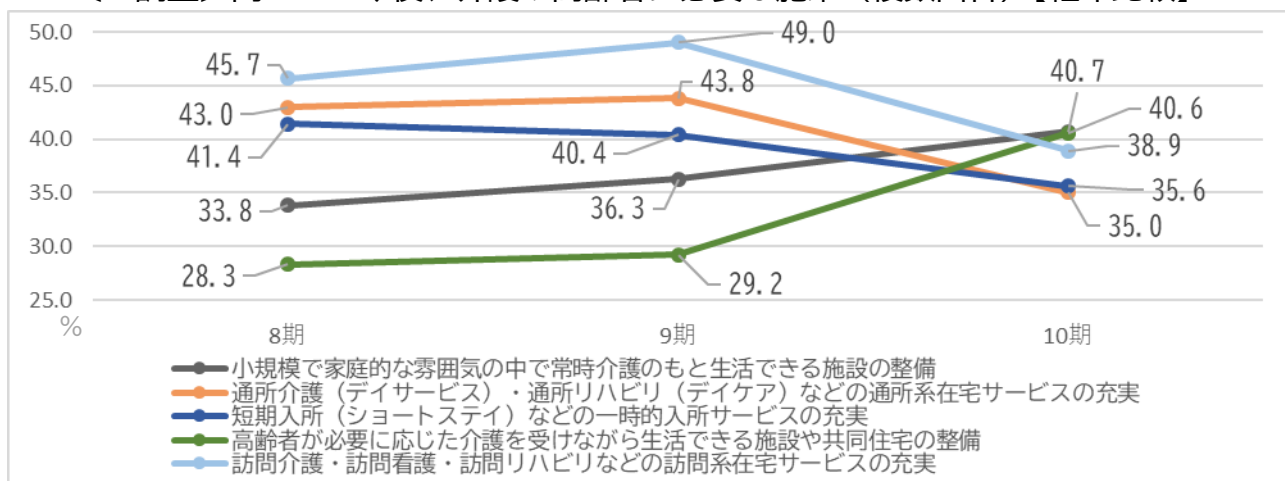
また、A調査（要介護高齢者等）、B調査（元気高齢者等）ともに「身寄りのない方への支援の充実」と答えた方が約2割となっており、家族等の支援が得られない高齢者への生活支援や見守り、権利擁護等の必要性が高まっていることがうかがえます。単身高齢者の増加等を背景に、地域における支援体制の整備が重要となっています。

一方で、B調査（元気高齢者等）の中で「生きがいをもって活動できる場や働ける場の整備」と答えた人が20.2%おり、高齢者の社会参加や役割づくりに対する関心も見られます。

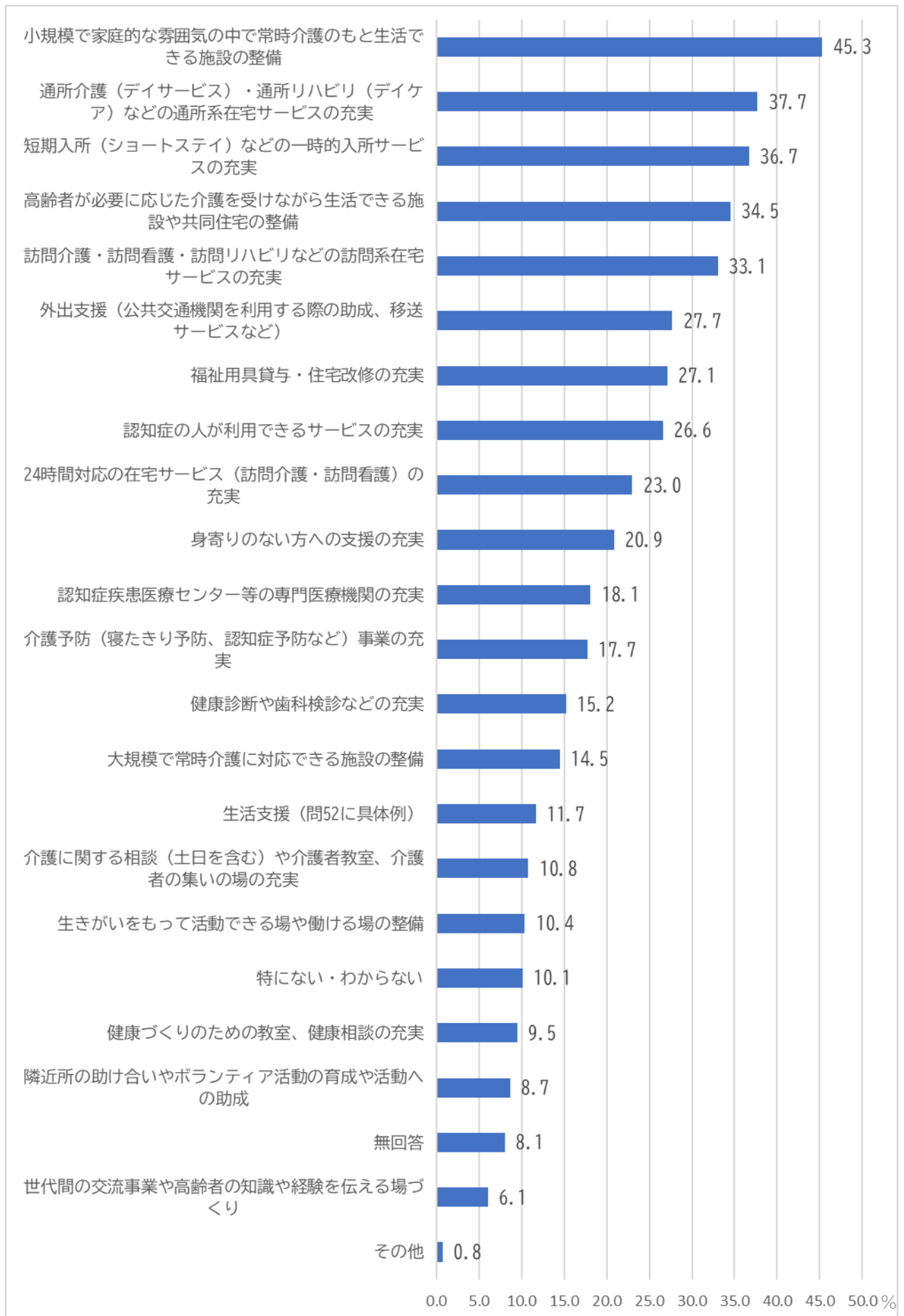
〔A調査〕問61 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答）【経年比較】



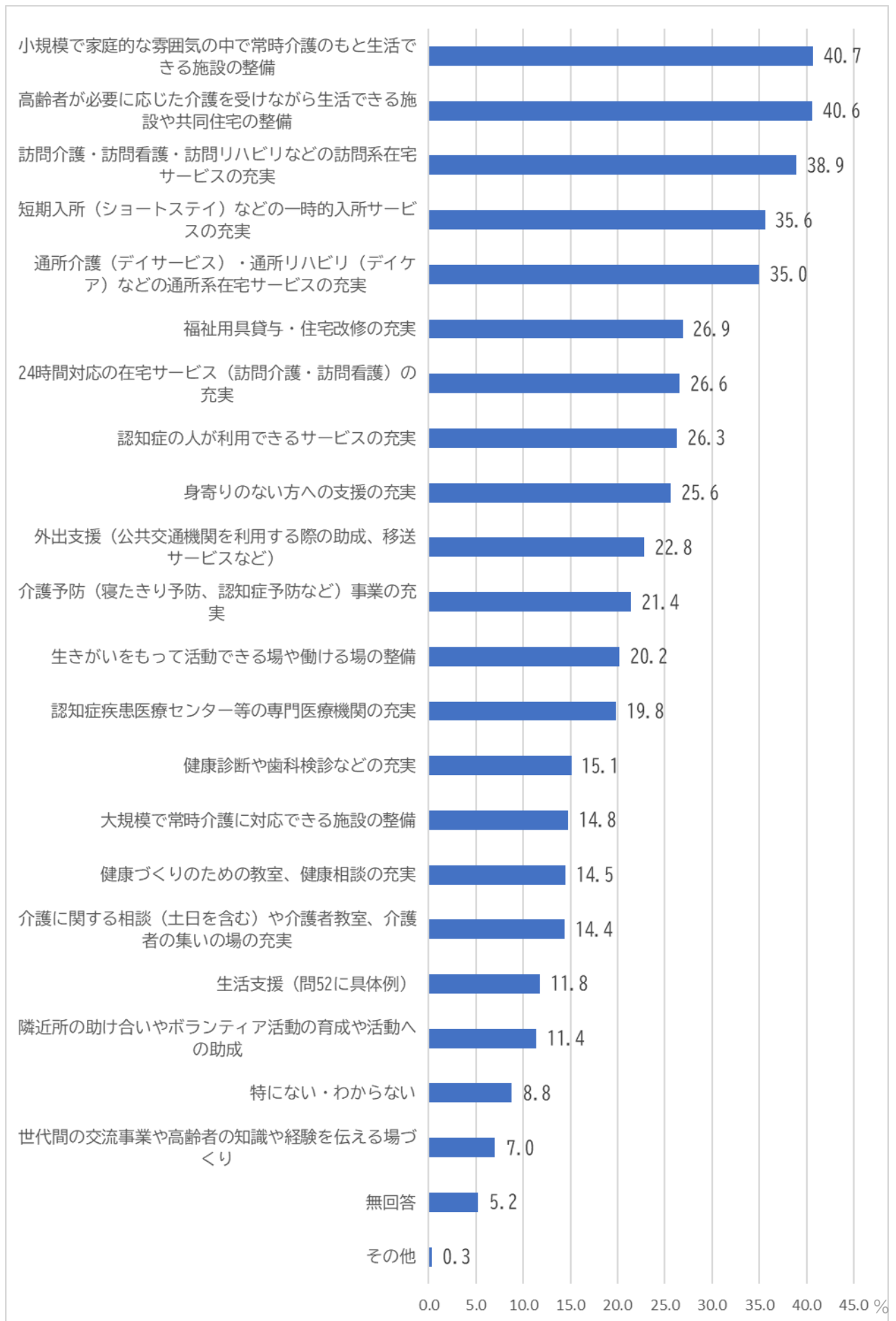
〔B調査〕問74 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答）【経年比較】



〔A調査〕問6 1 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答）



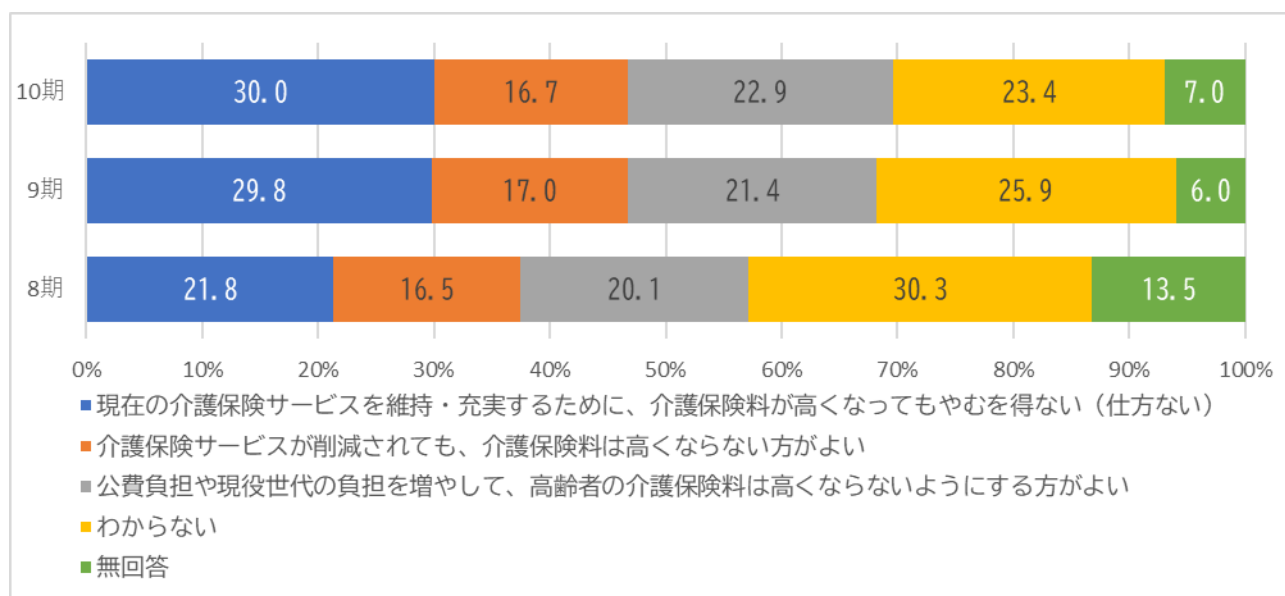
〔B調査〕問74 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答）



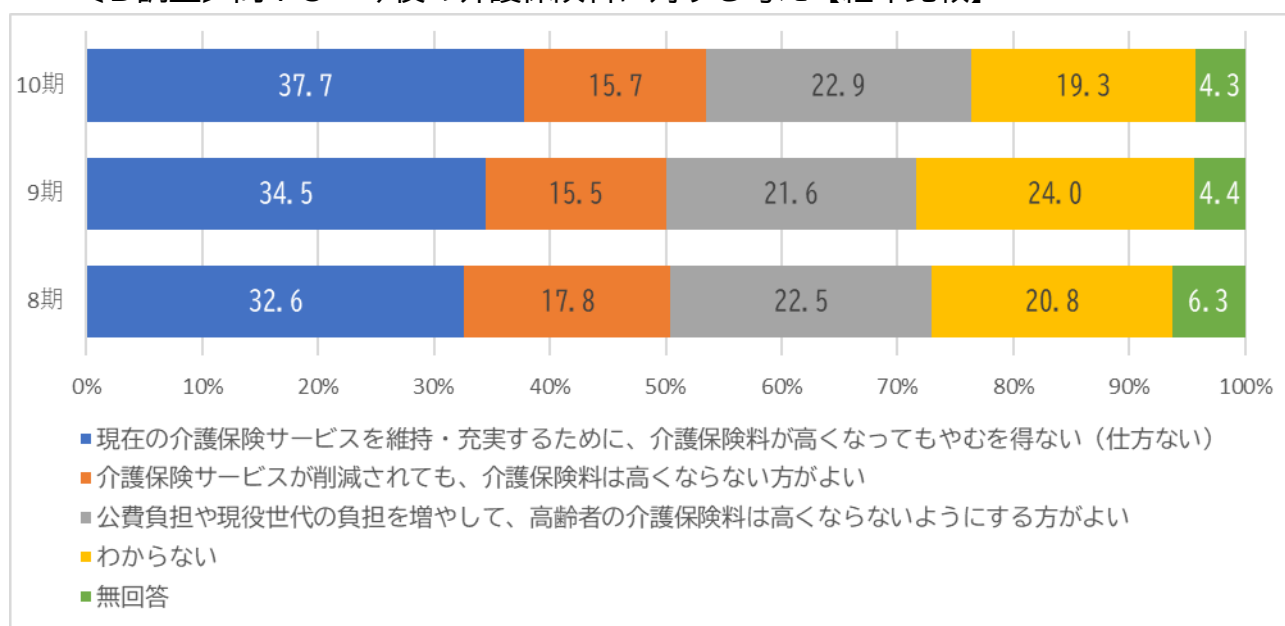
(19) 介護保険料に関する考え

介護保険料に関する考えは、A調査（要介護高齢者等）は30.0%、B調査（元気高齢者等）では37.7%の方が「サービスを維持・充実するために、高くなってもやむを得ない」と回答しています。経年で比較するとその割合が増加しています。一方で、「サービスが削減されても、介護保険料は高くないほうが良い」と答えた人は、A調査（要介護高齢者等）では16.7%、B調査（元気高齢者等）では15.7%となっています。

〔A調査〕問59 今後の介護保険料に対する考え【経年比較】



〔B調査〕問73 今後の介護保険料に対する考え【経年比較】



第9期計画の総括（現状と課題）

基本目標

「共に暮らし、ともに助け合い、一人ひとりが輝ける地域づくりを進めます。」

【現 状】

- 地域包括支援センターを中心に、関係機関や重層的支援体制と連携し、高齢者の相談に対応しました。
- 高齢者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、民生児童委員をはじめとする地域住民、市内事業者による松本市地域見守りネットワーク協定により緩やかな見守りを行いました。

【課 題】

- 相談機関のネットワーク強化
- 地域での見守り体制の継続が必要
- 身寄りなき高齢者の身元保証・住居確保・死亡時のこと等への対応

基本目標

「健康で生きがいを持ち、自立した生活を送るための活動と支援を進めます。」
「心身や暮らしの状況に配慮したサービスや医療の提供を進めます。」

【現 状】

- 地区事業の場を活用した介護予防の知識の普及啓発、通いの場の開設支援
- チームオレンジまつもと宣言を呼びかけ、認知症のある人もそうでない人も、一緒に活動のできる共生の場づくりを展開しました。
- 医療介護連携の課題を解決するために多職種で検討会を開催しました。

【課 題】

- フレイルから暮らしを取り戻すための支援（総合事業）の再構築、意識向上が必要
- 認知症への正しい理解や相談窓口のより一層の周知が必要
- 医療介護連携の課題を吸い上げるために、支援室・医療コーディネーターのより一層の周知が必要

基本目標

「中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを捉えて、安心して介護できる環境づくりを進めます。」

【現 状】

- 特定施設・グループホームを新設し介護環境整備
- 介護職養成校との意見交換、SNSでの魅力発信、外国人材受入プラットフォームの活用等、多様な手法で介護人材確保を支援

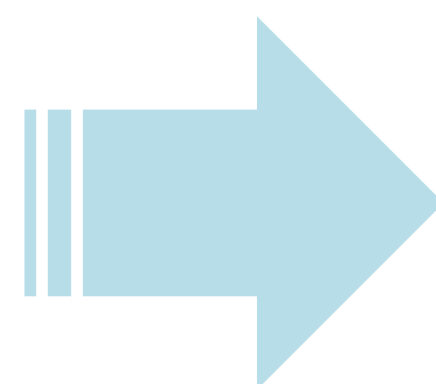
【課 題】

- 物価高騰や人材不足で介護施設運営・新設が困難となってきました。
- 高齢者数がピークを迎え、生産年齢人口が減少するなかで、介護サービスを受けたくても受けられない状態となる恐れがあります。

基本方針

- 誰もが住みやすいまちづくりの推進
- つながり合い・助け合いの地域づくり
- 生きがいづくりの推進
- 介護・フレイル予防と健康づくりの推進
- 認知症施策の総合的な推進
- 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進
- 中長期的な視点で見据えた基盤整備（低負担でも入所できる施設整備等の推進）
- 安心して介護サービスが受けられるための環境づくり
- 介護人材の確保と育成
- 計画推進体制の整備
- 介護保険サービスの見込み
- 財源構成と介護保険料

（案）



現状・課題

+

国基本指針

1. 2040年を見据えたサービス基盤・人的基盤の整備

2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組み

3. 介護人材確保と職場環境改善に向けた生産性向上、経営改善支援

4. 在宅医療・介護連携を図るための体制の整備

5. 認知症施策の推進と共生社会の実現

第10期計画の方向性

資料3-3

- ① 共に暮らし、ともに助け合い、一人ひとりが輝ける地域づくりを進めます。

- ◇ 解決までに時間を要する、複合的な課題を抱えた高齢者への相談に対応するために、関係機関の連携強化、職員の資質向上を図ります。
- ◇ 医療・介護を必要とする高齢者の増加、災害・新興感染症発生時の医療・介護サービス提供に備えるために、医療・介護専門職のネットワークをさらに機能強化します。
- ◇ 認知症の本人の声を尊重し「新しい認知症観」に基づく施策を推進します。
- ◇ 身寄りなき高齢者の身元保証・住居確保・死亡時のこと等に対応できる体制を強化します。

- ② 健康で生きがいを持ち、自分らしく生活を送るための活動と支援を進めます。

- ◇ 自ら望む生活を継続するために、楽しみながら実施できるフレイル予防・介護予防の普及啓発とフレイルの早期把握体制の充実を図ります。
- ◇ フレイル状態から、元のくらしを取り戻すための支援体制の構築と、意識づくりに取り組みます。

- ③ 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを捉えて、安心して介護できる環境づくりを進めます。

- ◇ 将来の人口減少や慢性的な介護人材不足が見込まれることから、新たな施設整備は必要最小限とし、転換や小規模施設を中心とした整備を行います。
- ◇ 関係機関と連携し、介護人材確保のプラットフォーム作りを強化します。
- ◇ 介護者の就労継続や老々介護に対応するため家族介護者支援を充実させます。

基本方針

- 1 住み慣れた地域で暮らし続けるための生活基盤の整備
- 2 誰もが安心して相談できる体制の強化
- 3 切れ目のない在宅医療と介護の連携推進
- 4 認知症施策の総合的な推進
- 5 生きがいづくりの推進
- 6 介護・フレイル予防と健康づくりの推進
- 7 中長期的な視点で見据えた基盤整備（低負担でも入所できる施設整備等の推進）
- 8 安心して介護サービスが受けられるための環境づくり
- 9 介護人材の確保と育成
- 10 持続可能な介護保険制度の運営

第9期施策体系

【基本理念】 松本市は、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して自立した生活ができることを願い、市民と行政、更に、地域でつながる全てのひとが支えあい、誰一人取り残さない地域福祉づくりを進めます。そして、「一人ひとりが自分らしく生き、シンカ(深化、進化)しながら支えあうまち」を目指します。

編	基本目標	章	基本方針	節	施策区分	頁
2	「高齢者がいきいきと暮らせるために」 共に暮らし、ともに助け合い、一人ひとりが輝ける地域づくりを進めます。	1	誰もが住みやすいまちづくりの推進	1	安定的な住まいと交通手段の確保	022
				2	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	024
				3	ジェンダーの平等と多様性への理解推進	026
		2	つながり合い・助け合いの地域づくり	1	地域課題の解決に向けた組織体制の強化	027
				2	見守り体制の推進	030
				3	相談体制の強化・充実	032
				4	低所得者への支援	034
				5	権利擁護・虐待防止の体制強化	036
		3	生きがいづくりの推進	1	社会参加や生きがいづくりの推進	039
3	「高齢者が安心して暮らせるために」 健康で生きがいを持ち、自立した生活を送るための活動と支援を進めます。 心身や暮らしの状況に配慮したサービスや医療の提供を進めます。	1	介護・フレイル予防と健康づくりの推進	1	自ら楽しむ介護予防や健康づくり、フレイル予防に参加する体制の推進	044
				2	介護予防・生活支援サービスと地域資源を活用した自立支援の強化	047
				3	地域包括支援センターの機能強化	050
		2	認知症施策の総合的な推進	1	認知症の共生と予防の推進	052
		3	切れ目のない在宅医療と介護の連携推進	1	在宅医療・介護の連携推進	056
		1	中長期的な視点で見据えた基盤整備（低負担でも入所できる施設整備等の推進）	1	家族介護者支援の推進	062
				2	施設・居住系サービスの整備	064
				3	地域密着型サービスの整備	066
				1	サービス提供体制の確保	069
				2	積極的な情報提供の実施	073
4	「サービスを円滑に提供するために」 中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを捉えて、安心して介護できる環境づくりを進めます。	2	安心して介護サービスが受けられるための環境づくり	1	介護支援専門員への支援と連携	074
				2	介護給付適正化	076
				3	介護給付適正化	078
				4	災害や感染症対策に係る体制整備	079
		3	介護人材の確保と育成	1	介護保険事業者等の支援・ICTや介護ロボットを活用した人材確保支援	081
				1	事業者、関係機関等との連携の強化	083
		5	介護保険サービスの見込み	1	介護保険サービス事業量及び費用の見込み	086
				2	地域支援事業の費用の見込み	091
		6	財源構成と介護保険料	1	財源構成と財政推計	092
				2	第1号被保険者の介護保険料	094

第10期施策体系（たたき台）

	基本目標	章	(新)基本方針	節	(新)施策区分	(旧)施策区分	目標（目指す姿）
1	高齢者がいきいきと暮らせるために	高齢者が安心して暮らせるために	共に暮らし、ともに助け合い、一人ひとりが輝ける地域づくりを進めます。	1	住み慣れた地域で暮らし続けるための生活基盤の整備	1 安定的な住まいの確保 ・安定的な住まいと交通手段の確保 ・ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	高齢者が安心して暮らすことができる。生活しやすいまちになる。
					2 安定的な交通手段の確保	安定的な住まいと交通手段の確保	高齢者が安心して暮らすことができる。生活しやすいまちになる。
					3 見守り体制の推進と身寄りなき高齢者への支援	見守り体制の推進	高齢者が地域全体で見守られ、安心して暮らすことができるまちになる。
					4 権利擁護・虐待防止の体制強化	権利擁護・虐待防止の体制強化	心身機能が低下した場合でも、本人の意思や尊厳といった権利を守れるよう支援体制の強化を図る。
					5 低所得者への支援	低所得者への支援	低所得の方が安心していつでも必要な介護サービスを利用できる。生活困窮者の生活が安定し社会的自立を促進する。
				2	誰もが安心して相談できる体制の強化	1 地域課題の解決に向けた組織体制の強化 ・地域課題の解決に向けた組織体制の強化 ・事業者、関係機関等との連携の強化	高齢者が地域の中で、「支えられる側」だけではなく、共に支えあう体制が構築できることで地域課題を解決できる地域となっている。
					2 相談体制の強化・充実	・地域包括支援センターの機能強化 ・相談体制の強化・充実（重層的支援体制整備事業）	相談を希望する市民が、適切な相談機関へつながり、支援を受けることができる。
					3 介護支援専門員への支援と連携	介護支援専門員への支援と連携	高齢者が安心して地域や自宅で暮らし続けることができている。
				3	切れ目のない在宅医療と介護の連携推進	1 在宅医療・介護の連携推進 在宅医療・介護の連携推進	医療と介護の両方が必要な市民が、住み慣れた家や地域で暮らし続け、自分らしい最期を迎えることができる。
				4	認知症施策の総合的な推進	1 認知症とともに生きる環境づくりの推進 認知症の共生と予防	認知症とともに生きる人の意思が尊重され、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる松本市
				5	生きがいづくりの推進	1 社会参加や生きがいづくりの推進 社会参加や生きがいづくりの推進	松本市が高齢者にとって常に生きがいを持って過ごすことができる環境となっている。
				6	介護・フレイル予防と自立支援の一体的な推進	1 自ら楽しむ介護予防・フレイル予防で、自ら望む生活を継続するための支援 自ら楽しむ介護予防・健康づくり、フレイル予防の推進	市民が、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし続けるために、自ら楽しみながらフレイル予防・介護予防に取り組み、自立した日常生活を維持もしくは再構築することができる。
					2 自分らしく暮らす力を引き出す支援の普及と地域資源を活用した自立支援の推進	・介護予防・生活支援サービスと地域資源を活用した自立支援 ・住民主体の助け合いづくりの推進	要支援状態からの自立支援、介護予防・重度化防止をすることで自分らしい暮らしの再獲得ができている。
2	サービスを円滑に提供するために	中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを捉えて、安心して介護できる環境づくりを進めます。	中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込みを捉えて、安心して介護できる環境づくりを進めます。	1	中長期的な視点で見据えた基盤整備（低所得でも入所できる施設整備等の推進）	1 施設・居住系サービスの整備 ・サービス提供体制の確保 施設・居住系サービスの整備	施設入所を希望する者が、低負担あるいは長期に待機することなく入所できるよう、施設が十分に整備されている
					2 地域密着型サービスの整備	・サービス提供体制の確保 ・地域密着型サービスの整備	誰もが住み慣れた自宅や、地域で、安心して暮らし続けることができるよう、日常生活圏域ごとに均衡の取れたサービス提供ができている。
				2	安心して介護サービスが受けられるための環境づくり	1 分かりやすい情報提供 積極的な情報提供	高齢者やその家族が介護に関する知識を深め、正しく理解するとともに、必要な時に、適切なサービスへ迷わずたどりつける。
					2 家族介護者支援の推進	・家族介護者支援の推進 ・ジェンダー平等と多様性理解への理解推進	介護者の身体的・経済的・心理的な負担が軽減され、安心して介護できる環境が整う。
					3 介護給付適正化	介護給付適正化	地域資源やインフォーマルサービスを活用しながら、真に必要とされる介護サービスが提供されている。
					4 苦情処理体制の充実	苦情処理体制の充実	サービス提供内容やサービス事業者等に関する苦情や相談ができる窓口が整っており、サービス提供体制の改善が図れている。
					5 災害や感染症対策に係る体制整備	災害や感染症対策に係る体制整備	災害や感染症発生時に避難行動要支援者への支援方法や避難先が確保されており、介護サービス事業所間や地域等の支援体制が整っている。
				3	介護人材の確保と育成	1 介護人材の確保・育成 ・介護保険事業者等の支援・ICTや介護ロボットを活用した人材確保支援 ・ジェンダー平等と多様性理解への理解推進	高齢化が進展し、生産年齢人口が減少する中、住民がサービス利用を希望する際に必要となる介護人材が確保できている。
					2 介護事業所支援		職員が働きやすい職場環境が整備され、離職防止と定着促進や生産性向上による経営基盤の強化が図られている。
				4	持続可能な介護保険制度の運営	1 介護保険サービス事業量及び費用の見込み 介護保険サービス事業量及び費用の見込み	2040年を見据えたサービス事業量及び費用を見込み、中長期的な制度運営を行う。
					2 地域支援事業の費用の見込み	地域支援事業の費用の見込み	社会情勢や住民のニーズの変化に応じて各事業を見直し、事業費と保険料のバランスを考慮しながら必要な予算を適切に計上する。
					3 財政推計と介護保険料	財源構成と財政推計	介護保険事業計画期間の財政推計を正確に行い、介護保険の適切な財政管理を図ること。
						第1号被保険者の介護保険料	被保険者の負担能力に応じた、保険料の設定。

(報告事項)

居宅介護支援事業者の介護予防支援の指定状況について（報告）

令和 6 年度報酬改定において、地域包括支援センターの業務負担軽減の観点から、地域包括支援センターの一定の関与を担保した上で、居宅介護支援事業者に介護予防支援の指定対象を拡大することが可能となりました。

指定申請のあった居宅介護支援事業者について、下記の通り指定しましたので報告します。

記

1 新規指定事業者 1 事業所

事業所名	地区	指定年月日
ゆめの里福祉相談センター	和田	令和 8 年 4 月 1 日

2 既存指定事業所 12 事業所

事業所名	地区	指定年月日
相澤居宅介護支援事業所	第二	令和 6 年 7 月 1 日
社会福祉法人松本市社会福祉協議会北部居宅介護支援事業所	城東	令和 6 年 4 月 1 日
居宅介護支援事業所みはらし	中山	令和 6 年 4 月 1 日
居宅介護支援センター歩	鎌田	令和 6 年 4 月 1 日
居宅支援センターふれあい	鎌田	令和 6 年 4 月 1 日
相澤居宅介護支援事業所松本みなみ	寿	令和 6 年 7 月 1 日
社会福祉法人松本市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	松南	令和 6 年 4 月 1 日
居宅介護支援事業所 ケアマネとらじ	笹賀	令和 6 年 4 月 1 日
相澤居宅介護支援事業所にいむら	島立	令和 6 年 7 月 1 日
居宅介護支援事業所サルビア	梓川	令和 6 年 4 月 1 日
社会福祉法人松本市社会福祉協議会西部居宅介護支援事業所	波田	令和 6 年 4 月 1 日
うつくしの里居宅介護支援事業所	里山辺	令和 7 年 6 月 1 日

3 介護予防支援給付実績（令和 8 年 4 月国保連合会審査分）

- (1) 地域包括支援センター 1, 823 件 (2, 021 件) △198 件
 (2) 居宅介護支援事業者 974 件 (887 件) 87 件

※ () 内数値は令和 8 年 2 月運営推進協議会報告の実績値（令和 7 年 12 月審査分）

4 その他

今年度は介護報酬改定の前年度となります。介護保険事業者の指定にあたっては、国の基準に準じ松本市条例を策定しているため、条例改正を行う予定です。

介護予防指定事業者の指定基準は、地域包括支援センターの運営等に関することもあるため、運営協議会にて随時ご意見をいただきながら、進めてまいりたいと考えております。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(協議事項)

介護予防支援業務（地域包括支援センターにおけるプラン作成業務）の
居宅介護支援事業所への一部委託について

1 趣旨

標記業務の委託先の選定について、松本市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第3条第1項及び厚生労働省老健局 平成30年5月10日発「地域包括支援センターの設置運営について」に基づき、運営協議会の承認をお願いするものです。

2 委託先について

令和8年2月12日に開催しました、令和7年度第2回運営協議会以降に、下記の事業者から受託の申し出がありました。

この事業者は次の委託要件を備えていることから委託するものです。

- (1) 中立性、公正性が担保され、受託する予防給付及び介護予防・生活支援サービス事業に係るケアマネジメント業務の円滑な遂行ができる能力のある事業者である。
- (2) 原則、市町村が介護保険法に基づいて指定し、要介護者に対して介護給付のケアプランの作成を行う居宅介護支援事業者である。

3 委託後の対応について

業務委託の要件を維持し、適正なケアマネジメント業務が行われるよう、地域包括支援センターと各事業者との連携を密にするとともに、研修の受講等の指導を行ってまいります。

4 その他

当業務の委託先については、今後も居宅介護支援事業者の動向により承認をお願いしてまいります。

番号	介護保険 事業者番号	居宅介護支援事業所名	所在地
1	2070204777	ゆめの里福祉相談センター	松本市和田 2240-9
2	2071501080	居宅介護支援事業所フラワー塩尻	塩尻市広丘高出 2228-10
3	2072300433	居宅介護支援事業所フラワー諏訪	諏訪郡下諏訪町高浜 6188-1

					委託元包括													
事業所番号	法人名	事業所名	〒	所在地	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	備考	
2070203266	株式会社みらいさい福祉会	愛光苑ケアマネセンター	390-0861	松本市蟻ヶ崎5-4-10	○	○	○	○		○	○			○				
2070200098	社会医療法人財団慈泉会	相澤居宅介護支援事業所	390-0814	松本市本庄2-10-21	○	○	○	○	○	○		○	○					
2070202938	社会医療法人財団慈泉会	相澤居宅介護支援事業所にいむら	390-0852	松本市島立2026-14	○		○			○		○	○	○	○	○		
2070204231	社会医療法人財団慈泉会	相澤居宅介護支援事業所松本みなみ	399-0024	松本市大字寿小赤672番1	○		○		○	○	○	○	○					
2070203100	株式会社あかぎ	あかぎ居宅介護支援事業所	390-0221	松本市里山辺1840-1		○	○		○									
207020460	合同会社 三沢介護院	あがたケアサポート	390-0812	松本市県2-4-7				○										
2070203183	株式会社社歩	あゆみケアセンター	390-0841	松本市渚4-5-2										○	○			
2070204645	株式会社幸幸	あんずの木松本居宅介護支援事業所	390-1243	松本市神林2660-10フレグランスミムラ203号							○	○	○					
2070204587	医療法人 青樹会	一之瀬居宅介護支援事業所	390-0852	松本市島立2100-2				○			○	○	○					
2070201666	株式会社ソーシャル・ネットワーク	ウィズ松本	390-0821	松本市筑摩2-27-30					○									
2072700734	社会福祉法人 敬老園	うつくしがはら温泉敬老園 居宅介護支援事業所	390-0221	松本市里山辺67-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
2070200221	社会福祉法人ジェイエー長野会	うつくしの里	390-0221	松本市里山辺字藤井910-1	○	○	○	○	○		○	○		○				
2070203787	株式会社 はやま	えがおのまど居宅介護支援センター	390-0851	松本市島内5047-2		○		○						○				
2070203167	特定非営利活動法人ケ・セラ	NP0法人ケ・セラ	390-0826	松本市出川町11-6	○													
2070202946	特定非営利活動法人ラポール	NPO法人ラポール居宅介護支援事業所	390-0807	松本市里山辺17322-1	○		○	○										
2070202441	エフビー介護サービス株式会社	エフビー居宅介護支援事業所松本	390-0851	松本市島内5003-3 サンライフ犬飼B101		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
2070204439	株式会社オレンジ	エミナスケアプランセンター	399-0033	松本市笹賀5301-1										○				
2072700582	有限会社介護サービス百寿しが	介護サービス百寿しが	399-7402	松本市会田4023-1	○							○						
2010217335	医療法人心泉会上條記念病院	上條記念病院	399-0037	松本市村井町西2-16-1	○				○	○	○	○	○					
2070204520	合同会社 とらじ	居宅介護支援事業所ケアマネとらじ	399-0033	松本市笹賀1899-2			○				○	○	○		○	○		
2070202557	特定非営利法人新緑のめばえ	居宅介護支援事業所けやき	390-1243	松本市神林3834番地2						○	○	○	○	○				
2070202797	社会福祉法人梓の郷	居宅介護支援事業所サルビア	390-1701	松本市梓川梓3234-15						○				○	○	○		
2070204066	合同会社 樹下夢	居宅介護支援事業所 樹下夢	390-0221	松本市里山辺129-1 フェア*御母家103号	○	○	○	○		○	○							
2070202912	社会福祉法人平成会	居宅介護支援事業所なごみ松本	399-0011	松本市寿北5-34-23	○				○	○	○							
2070201781	社会福祉法人ハーモニー	居宅介護支援事業所ハーモニー	390-0851	松本市島内広田4064-2	○	○	○			○		○		○	○			
2070204512	ケアズリンク	居宅介護支援事業所 日々輝	390-0848	松本市両島13-33	○		○			○								
2070204173	桐山電機株式会社	居宅介護支援事業所ふくろうの家	390-0804	松本市横田4-27-19			○											
2070204181	合同会社みはらし	居宅介護支援事業所みはらし	390-0823	松本市中山6343	○	○		○	○	○				○				
2070202227	合同会社居宅介護支援事業所わがや	居宅介護支援事業所わがや	390-0852	松本市大字島立2237-62					○									
2070204009	MKM合同会社	居宅介護支援センター歩	390-0847	松本市笹部2-6-5						○			○	○				
2070202151	株式会社 百楽	居宅介護支援センター百楽	399-0036	松本市村井町南1-31-6				○		○	○	○	○	○				
2070201369	タカサワ通商株式会社	居宅支援センターふれあい	390-0842	松本市征矢野2-12-46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2070204389	リバーハンズ（株）	ケアプランセンター糸	390-0875	松本市城西1-181-7	○	○	○		○			○						
2070204546	株式会社架け橋	ケアプランセンターかけはし	390-0852	松本市島立1080-1カサマサB202	○	○	○	○	○	○								
2070204108	有限会社 富成福祉事務所	ケアプランニングはればれ	390-0876	松本市開智1-6-17			○	○	○				○	○				
2070201815	医療法人梓誠会 梓川診療所	ケアマネあずき	390-1702	松本市梓川梓1645-1	○		○			○			○	○	○	○		
2070202276	特定非営利活動法人ケアタウン浅間温泉	ごてん居宅介護支援事業所	390-0303	松本市浅間温泉3-31-28	○	○	○	○	○	○				○				
2074000551	メディカルケア株式会社	サクラケア松本店	390-1702	松本市梓川倭466-3		○	○			○	○		○	○	○	○		
2072700574	有限会社塩原薬局	塩原薬局	390-1401	松本市波田5445-4				○					○		○	○		
2070200981	長野県高齢者生活協同組合	社会福祉相談センターたんぼぼ	390-0814	松本市本庄2-3-18	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
2072700137	社会福祉法人松本市社会福祉協議会	社会福祉法人松本市社会福祉協議会 四賀居宅介護サポートセンター	399-7402	松本市会田1001-1 四賀支所3階	○									○				
2070200015	社会福祉法人松本市社会福祉協議会	社会福祉法人松本市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所	390-0833	松本市双葉4-16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2070202482	社会福祉法人松本市社会福祉協議会	社会福祉法人松本市社会福祉協議会 西部居宅介護支援事業所	390-1401	松本市波田4417-1波田支所3階						○	○		○	○	○	○		
2070201971	社会福祉法人松本市社会福祉協議会	社会福祉法人松本市社会福祉協議会 北部居宅介護支援事業所	390-0803	松本市元町3-7-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2070201740	株式会社ウェルライフ信州	セントラル・ピオス	390-0874	松本市大手2-9-23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2070204702	合同会社七紬	たまきケアプランセンター	390-1401	松本市波田6579									○			○		
2070200940	富士ライフケアネット株式会社	筑摩あんしん館	390-0821	松本市筑摩4-20-17	○	○	○	○	○		○	○		○	○			
2070201153	社会福祉法人国際保健支援会	つかまの里居宅介護支援センター	390-0821	松本市筑摩3-15-31			○				○	○						
2070200197	株式会社ツクイ	ツクイ松本	390-0831	松本市井川城3-4-43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2070201476	特定非営利活動法人峠茶屋	特定非営利活動法人峠茶屋	399-7417	松本市刈谷原町531-1	○		○											
2070200031	社会福祉法人恵清会	特別養護老人ホーム真寿園 松本市寿在宅介護支援センター	399-0026	松本市寿中2-20-1	○		○		○	○	○	○	○	○				
2070202284	医療法人道悠会	中川居宅介護支援センター	399-0006	松本市野溝西2-3-23	○					○	○	○	○	○				
2070203993	あいナバリン株式会社	なべりんケアプランセンター	390-0833	松本市双葉8-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
2070204041	鍋林松本居宅介護支援事業所	鍋林松本居宅介護支援事業所	390-0833	松本市双葉8-10		○												
2070201435	株式会社ニチイ学館	ニチイケアセンター松本桐	390-0861	松本市桐3-2-45 山本ビル2F	○	○	○	○	○	○	○							
2070200593	株式会社ニチイ学館	ニチイケアセンター松本笹賀	399-0033	松本市笹賀3967番地3						○	○	○	○	○				
2070204397	Cura・Hana合同会社	はなぞの居宅介護支援事業所	390-0831	松本市井川城2丁目10番27号	○	○												
2070200056	医療法人藤森医療財団	藤森居宅介護支援センター	390-0811	松本市中央3-2-7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2070203597	株式会社クローバー	ぶらうん	390-0851	松本市島内3499-1										○	○			
2070204629	ホームケア株式会社	ホームケア居宅支援センター	380-0842	松本市征矢野2-29-1号ArrowC		○	○	○	○		○	○				○		

					委託元包括												
事業所番号	法人名	事業所名	〒	所在地	北部	東部	中央	中央北	中央南	中央西	南東部	南部	南西部	河西部	河西部西	西部	備考
2070200023	社会医療法人中信勤労者医療協会	松本協立居宅介護支援センター	390-8505	松本市巾上9-26	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
2070204454	株式会社SOYOKAZE	松本ケアセンターそよ風	107-0061	松本市大字笹賀8134-1	○			○			○			○			
2010217111	社会医療法人城西医療財団	松本しろにし	390-8648	松本市城西1-5-16	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
2070204298	株式会社信濃毎日新聞松本専売所	松本福祉センター	390-0874	松本市大手4丁目10番16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2070200072	社会医療法人抱生会	丸の内居宅介護支援センター	390-0852	松本市島立674-1	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
2070203753	一般社団法人　ななつ星	めぐり愛	390-1401	松本市波田10070-7		○				○		○	○	○	○	○	
2070203910	社会福祉法人松本ハイランド	ゆめの里今井福祉相談センター	390-1131	松本市今井1670							○	○	○		○		
2070202235	社会福祉法人松本ハイランド	ゆめの里和田福祉相談センター	390-1242	松本市和田2240-9	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
2070101130	社会福祉法人長野市社会福祉協議会	篠ノ井介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	388-8003	長野市篠ノ井小森587-1								○					
2010317713	長野県厚生農業協同組合連合会	鹿教湯病院居宅介護支援事業所	386-0396	上田市鹿教湯温泉1308	○		○	○			○						
2071500546	社会医療法人財団慈泉会	相澤居宅介護支援事業所しおじり	399-0744	塩尻市大門79-2			○			○			○				
2071500082	社会福祉法人塩嶺福祉協会	居宅介護支援事業所ケアハウスえんれい	399-0711	塩尻市大字片丘6778-3							○	○					
2071500744	社会福祉法人平成会	居宅介護支援事業所せせらぎ	399-6461	塩尻市宗賀1298-92							○		○	○			
2071500736	有限会社ナカノ	居宅介護支援事業所福祉支援センターナカノ	399-0705	塩尻市広丘堅石2146-560									○				
2071500629	株式会社ニチイ学館	ニチイケアセンター塩尻ききょう	399-0744	塩尻市大字大門65-11	○		○				○	○	○				
2071501080	株式会社介護センター花岡	フラワー塩尻	399-0703	塩尻市広丘高出2228-10					○								
2071500066	医療法人社団敬仁会	まほろばケアマネジメントサービス	399-6461	塩尻市宗賀1295							○	○	○				
2074000759	社会医療法人財団慈泉会	相澤居宅介護支援事業所あずみの	399-8303	安曇野市穂高787	○									○			
2074000049	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会	安曇野市社会福祉協議会居宅支援センター	399-8205	安曇野市豊科4160-1				○									
2072800101	社会福祉法人七つの鐘	安曇野南介護相談センター	399-8101	安曇野市三郷明盛1491ミサトピアロビテルー一日市場内										○	○		
2074000270	特定非営利活動法人あんずの木	あんずの木居宅介護支援事業所	399-8102	安曇野市三郷温299									○		○	○	
2072800796	社会福祉法人　考悌会	居宅介護支援事業所たきべ野	399-8204	安曇野市豊科高家5 0 9 0－1								○					
2074000197	(有)システムプラスワン	居宅介護支援事業所　和　（なごみ）	399-8205	安曇野市豊科5179-1	○												
2074000981	株式会社　アイ	居宅介護支援事業所　わらわ	399-8303	安曇野市穂高8 2 0 1－7						○							
2072800788	あづみ農業協同組合	JAあづみ指定居宅介護支援事業所	399-8201	安曇野市豊科南穂高2728-1											○		
2074000999	合同会社集いの会豊科	相談支援センター集　（つどい）	399-8205	安曇野市豊科2210-10	○												
2052880016	社会医療法人城西医療財団	とよしな	399-8205	安曇野市豊科5633-1			○										
2074001419	医療法人仁雄会	穂高病院居宅ケアプランふるる	399-8303	安曇野市穂高4303-1							○						
2072700939	合同会社さんそら	さんそら相談所	390-1301	東筑摩郡山形村5 4 0 5－8	○				○	○	○	○	○	○	○		
2072900372	社会福祉法人幸充	居宅介護支援事業所こうしゅう松川	399-8501	北安曇郡松川村5650-54								○					
委託事業所数					44	33	42	35	31	40	43	42	40	43	26	15	
R83サービス提供分　介護予防サービス計画・介護予防ケアマネジメント作成数 ※過誤・返戻除く				全体数	305	242	248	184	202	251	307	179	193	260	222	177	
				委託件数	231	180	216	174	144	195	237	174	170	202	160	149	
				委託率	75.7%	74.4%	87.1%	94.6%	71.3%	77.7%	77.2%	97.2%	88.1%	77.7%	72.1%	84.2%	